平成２６年度事業報告

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から４年が経ち、現在も復旧・復興に向けた取り組みが続けられているが、この東日本大震災においては、人と人との「絆」の大切さが再認識された。古来より、日本では地縁、血縁など「えにし」を大切に考え、「向こう三軒両隣」の関係が作られ、お互いが支え合い・助け合う相互扶助が日常的に行われてきた。人と人との関係が希薄になりつつある現代社会においてこそ、災害対応ばかりでなく、多様な生活・福祉課題に対応するため、絆を大切にし、みんなで助け合い、お互いが信頼し合える地域社会づくりを進める必要がある。

また、経済・雇用情勢については、安倍内閣の進める経済政策により改善を示す動きも見られるが、急速な少子高齢化が進行しており、社会保障費は増大し続け、そのため税と社会保障の一体改革等に基づき、医療や介護、福祉の各分野で新しい仕組みが検討され、実施されてきている。

このような中､本県においても支え合い･助け合いによる地域づくり､生活困窮者の自立支援、福祉・介護分野の人材確保、高齢者の生きがいづくり等の対策が求められている。

本会としては、行政、市町村社会福祉協議会をはじめ、社会福祉関係機関・団体等とさらなる連携強化を図りながら、これらの対策を円滑に進め「だれもが　その人らしく　安心して暮らせる福祉社会の実現」のため、社会的使命を果たしていく必要がある。

このため、第４次地域福祉活動推進プランに基づき、住民主体の支え合い活動であるサロン活動の普及促進、フェスティバル開催等によるボランティア・市民活動の支援、就職相談会や研修の実施等による福祉･介護分野の人材確保･育成、生活資金貸付等による生活困窮者支援、日常生活に支障のある方の自立支援、苦情解決相談やサービス評価による福祉サービスの向上、ねんりんスポーツ大会開催等による高齢者の健康・生きがいづくりなどに取り組んだ。

１　支え合う福祉（住民参加と福祉コミュニティづくりの推進）

（１）住民参加によるまちづくりの支援

①　市町村社協への支援

市町村社協を支援するために、人事・労務管理担当、トップセミナー、経理担当職員などの研修会を開催し、市町村社協役職員の専門性の向上に努めた。

②　はんどちゃんネットワーク運動の推進

住民が支え合い、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、地域福祉活動の拠点としてのサロンの普及・支援を「はんどちゃんネットワーク運動」を通じて推進し、ふれあい・いきいきサロンつくり方講座、福祉コミュニティづくり推進のつどいを開催した他、サロン拡充支援のための事業費助成、サロン活動実践事例集の発行、広報媒体を活用し運動の広報・啓発を行った。

③　「絆づくり」市町村社協チャレンジ応援モデル事業の実施

新たに地域で課題を持った孤立しがちな住民の支援を強化することによって、助け合い・支え合う福祉社会の構築を図るため、これらの事業に取り組む3市社協を支援した。

④　福祉教育・学習の推進

地域社会、学校及び家庭が連携して子どものときから福祉の心を育む「福祉教育協力学区指定事業」を5市町社協で実施するとともに、福祉教育担当の学校教職員や市町村社協職員、関係団体、教育・行政関係者等90人の参加により、福祉教育推進セミナーを開催し、地域での福祉教育を推進した。

（２）ボランティア・市民活動への支援

①　ボランティア・市民活動への参加促進

住みやすい地域づくりに向けてのボランティア・市民活動の振興を図るため、「安心した地域生活を送るために“ワタシ”ができること」をテーマにしたボランティアフェスティバル（延べ参加者240人）を開催し、地域福祉活動のさらなる充実を図ることに努めた。

②　災害時に対応した支援体制の整備

災害発生後の福祉救援・ボランティア活動が迅速かつ円滑に実施できるよう、県民を対象とした防災ボランティア養成研修会を講義や被災地での実地体験を通して実施し、防災に関する人材の養成に努めるとともに、災害時に対応した支援体制の整備を推進した。

（３）はつらつと社会参加できる環境づくり

①　全国健康福祉祭選手等派遣事業

明るく活力ある長寿社会を築くため、高齢者を中心とするスポーツ・文化・芸術の総合的な祭典である「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会」へ選手団（監督・選手・役員等178人）を派遣するとともに、美術展に作品を出展（11点）し、スポーツ・文化・芸術活動を通じた高齢者の社会参加、健康・生きがいを高揚・増進した。

②　元気シニア地域貢献事業

様々な特技を持った茨城シニアマスターを登録（登録147団体・個人）、地域活動に活用（301件）し引き続き地域の活性化を図るとともに、セカンドライフ特派員による情報提供やセカンドライフに関する相談を通して、高齢者のボランティア活動等への参加を支援した。

③　茨城県健康福祉祭（県版ねんりんピック）開催事業

「第28回全国健康福祉祭やまぐち大会（ねんりんピックおいでませ！山口2015）」の予選会を兼ねたグラウンド・ゴルフなどを含む5種目の競技について、各市町村の代表選手（チーム）が集う「いばらきねんりんスポーツ大会」を開催（参加者約1,300人）し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進した。

また、高齢者の芸術・創作活動を促進するため、絵画、写真等の入選作品を展示する「わ

くわく美術展」（申込 723 点、展示 734 点）、及び小学校等の児童を対象に、お年寄りがいきいきとしている姿や子ども達と交流している姿などの絵を募集し、優秀作品を展示、顕彰する「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」（応募 4,355 点、展示 41 点）を同時に開催（入場者 3,096 人）し、高齢者の生きがいの高揚・増進と世代間の交流を深めた。

④　わくわく元気アップ講座開催事業

シニア世代を対象として、健康・生きがい・仲間づくりをテーマに、総合講座（9 回）と選択講座（絵画・園芸）（各 11 回）を組み合わせた「わくわく元気アップ講座」を開催（50 人受講）し、生涯学習活動を通じたシニア世代の社会参加や仲間づくりを促進した。

２　安心して利用できる福祉（福祉サービス利用者への支援）

（１）日常生活自立支援事業の充実

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力の不十分な方に対する福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を、市町村社協と連携して、818 人の利用者の支援を行うとともに広報・周知にも努めた。

（２）苦情解決事業の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するとともに、日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため、運営適正化委員会において苦情相談（74 件）に関する助言及び調整、日常生活自立支援事業の契約内容の審議や 11 基幹的社協（龍ケ崎市、笠間市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、行方市、鉾田市、茨城町、大洗町、城里町、大子町）に対する事業実施状況調査（訪問調査）並びに、44 基幹社協に対する事業実施状況調査（書面調査）を行った。

また、事業所における苦情解決体制の整備状況に関する実態調査のため、巡回指導（11 事業所）を実施し、体制の整備促進に努めた。

（３）第三者評価事業及び外部評価事業の推進

福祉サービス第三者評価事業として、社会的養護関係施設（児童養護施設）の訪問調査を実施した。

また、指定認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）及び指定小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価の評価機関として、契約事業者に対し評価を実施した。

・第三者評価事業受審施設数：9 施設
・指定認知症対応型共同生活介護事業所外部評価受審数：94 事業所
・指定小規模多機能型居宅介護事業所外部評価受審数　：35 事業所

（４）効果的な情報発信と提供

広報誌「いばらきの社会福祉」やホームページ，Facebook ページなどを活用し、迅速に福祉情報を提供することで、県民への福祉の理解と啓発に努めた。

（５）低所得世帯等の自立支援

低所得者、障害者、高齢者世帯等に対し、生活福祉資金として129件の貸付けを行い、経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援するとともに、市町村社協や民生委員を通じて貸付制度の周知を図った。

また、債権管理専門員を配置し、適切な債権管理を行うとともに、債務者への償還指導等にも努めた。さらに債権管理強化月間においては、19市町村社協で償還相談会を実施した。

３　質の高い福祉と協働する福祉（社会福祉事業の充実・活性化への支援）

（１）福祉人材の確保と就労の促進

①　福祉人材無料職業紹介事業の実施

社会福祉事業所への就職希望者に対し、社会福祉法人等からの求人情報を提供するとともに、就業の相談や就職支援に努めたところ、事業所への紹介件数は265件で就職採用件数は168件であった。

また、「福祉の就職総合フェア 2014～就職相談会～」を水戸市及び栃木県小山市内で開催したところ、求人ブース81ヶ所に対し、求職者156人が参加して直接相談・面談を行うなど、福祉人材の確保と就職活動を支援した。

さらに、社会福祉を担う青少年や県民を対象に、福祉に対する理解と関心を高めるため「福祉職場2014フェスティバル」を開催したところ、約1,200人の参加があった。

②　介護支援専門員実務研修受講試験・実務研修及び更新・再研修の実施

介護保険制度における介護サービス機能の中核的役割を果たす介護支援専門員の養成・確保を図るため、介護支援専門員実務研修受講試験（受験者3,750人）の合格者（632人）、及び昨年度の延期者等を対象とした、介護支援専門員実務研修を6コース、延べ37日間実施したところ、623人が受講修了した。

また、介護支援専門員として登録後実務に従事した経験のない方や、実務経験はあるが更新手続きを行わなかった方等を対象に、更新・再研修を実施したところ、265人が受講修了した。

（２）福祉・介護人材確保のための緊急支援

雇用や就職の機会を創出するため、福祉・介護人材の確保・定着に向けた緊急雇用対策事業として、「福祉・介護職員確保特別対策事業」及び「潜在的有資格者等再就業促進事業」、「福祉・介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務」、「福祉・介護マッチング機能強化事業」並びに、「福祉・介護人材確保対策連携強化事業」を実施した。

福祉・介護職員確保特別対策事業では、201人の雇用を図ることができ、職場体験事業では延べ135人（延べ280日）の方が参加し福祉施設等で体験を行った。

続いて、福祉・介護人材マッチング機能強化事業では、求職者にふさわしい就職を支援するためキャリア支援専門員を6人配置するとともに、就職支援のための「就職面接会」を地区別（県南・県央・県北・鹿行・県西の5地区）で合計10回（求人ブース合計214ヶ所・求職者

合計 178 人）開催した。

また、同事業で求職・求人の相談の場として、「福祉・介護就職相談会」を結城市、常陸太田市、高萩市、笠間市、牛久市、守谷市、坂東市、鉾田市、東海村、阿見町、10 市町で（延べ 99 回、相談件数 105 件）実施し、求職者・求人事業所の個別の相談支援を行った。同様に県内５か所のハローワーク（ハローワーク日立・筑西・常陸鹿嶋・龍ケ崎・土浦わかものハローワーク）においても相談会を実施した（延べ 104 回、相談件数 106 件）。

その他、小・中学生を対象に福祉の仕事の楽しさや魅力を伝えることを目的として「福祉キャラバン隊」及び「福祉の魅力発見ツアー」を実施。「福祉キャラバン隊」では県内 27 校を訪問し、延べ 1,419 人の児童・保護者に対して福祉の仕事内容や魅力について伝えた。

「福祉の魅力発見ツアー」では、県央・県南コースの 2 コースを開催。合計 85 人の参加を得た。県央コースでは、中川調理技術専門学校にて親子で調理体験を実施（テーマ「高齢者にやさしい食事～みんながおいしく食べるには～」）。その後、水戸市内の特別養護老人ホーム及びケアハウスを見学。県南コースでは、特別養護老人ホームを見学後、つくば市にあるサイバーダインスタジオにてロボットスーツＨＡＬ®の動作原理体験等を行った。

（３）福祉人材の養成と質の向上

社会福祉事業従事者の専門性の確保と資質の向上を図るため、社会福祉施設及び市町村社協の役職員を対象として、社会福祉事業従事者に必要な知識・技術及び倫理の習得等をめざし研修を実施した。

一般研修（階層別研修を含む）12 コース、専門研修 18 コース、特別研修 3 コース、公開講座 1 コースの併せて 34 コース・延べ 57 日間実施し、3,178 人が受講した。

（４）社会福祉施設地域貢献活動支援事業

市町村社会福祉協議会に助成金を交付し、市町村内の福祉施設における地域貢献活動の連携強化を図った。

平成 26 年度は、新たに小美玉市社会福祉協議会を指定するとともに、昨年度からの常総市社会福祉協議会、笠間市社会福祉協議会、坂東市社会福祉協議会、下妻市社会福祉協議会、東海村社会福祉協議会、大子町社会福祉協議会の 6 社協を合わせた 7 社協を通じ、地域貢献活動の啓発や福祉施設との連携を図るための連絡協議会の設置や、研修会、講習会及び福祉まつり等を実施した。

（５）民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業の運営

民間社会福祉施設職員に対する福利厚生の一環として、退職手当支給制度を運営しており、契約加入状況は 819 施設で 11,992 人となっている。

一方、民間社会福祉施設等職員の退職者 1,139 人に対して退職手当金を支給するとともに、より安全で安定的な運営と適切な資産の運用管理を行った。

また、退職手当支給制度について財政検証を行い、平成 26 年度は掛金率の引き下げについて見直した。

４　きり開く福祉（新たな課題への対応）

（１）生活困窮者自立支援法施行に向けての対応

生活困窮者自立支援法の施行に向け、市町村社協職員を対象とした研修会の開催や、各種情報の収集・提供を図るとともに、関係機関・団体が主催する研修会等に参加した。

また、生活困窮等に起因して学習の機会を逸している児童・生徒に対し、居場所並びに学習の場を提供することで、対象世帯の自立を側面的に支援する仕組みづくりの検討及びその取り組みとして『チャレンジ塾』を開催した。

５　前進する県社協（県社協の組織の充実）

（１）法人組織の充実と事務局体制の整備

「第４次茨城県地域福祉活動推進プラン」を総合的かつ計画的に進行するため，評価推進チームによる本年度分の実施項目の進行管理を行った。

1　会務の運営

（1）理事会及び監査並びに評議員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5. 9	監　査	・ 平成25年度事業報告について ・ 平成 25 年度一般・公益・特別会計収入支出決算について	県総合福祉会館	14 人
26. 5.27	第1回理事会	・ 平成25年度事業報告について ・ 平成 25 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出決算について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会介護福祉士等修学資金貸付規程の一部改正について ・ 評議員の委嘱について	県総合福祉会館	30 人
26. 5.27	第1回評議員会	・ 平成25年度事業報告について ・ 平成 25 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出決算について ・ 理事及び監事の選任について	県総合福祉会館	43 人
26. 6.19	第2回理事会	・ 会長・副会長の選任について	つくば国際会議場	28 人
27. 1.29	第3回理事会	・ 平成 26 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出補正予算について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会就業規程の一部改正について ・ 評議員の委嘱について	水戸プラザホテル	26 人
27. 1.29	第2回評議員会	・ 平成 26 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出補正予算について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会理事の選任について	水戸プラザホテル	34 人
27. 3.25	第4回理事会	・ 平成 26 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出補正予算について ・ 平成27年度事業計画について ・ 平成 27 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出予算について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会組織改正について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会諸規程の一部改正について ・ 副会長の選任について	県総合福祉会館	26 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 3.25	第3回評議員会	・ 平成 26 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出補正予算について ・ 平成27年度事業計画について ・ 平成 27 年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出予算について ・ 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会組織改正について ・ 理事の選任について	県総合福祉会館	38 人

（２）関会長30年記念祝賀会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 1.29	関会長30年記念祝賀会	・ 祝賀会	水戸プラザホテル	121 人

２　委員会の開催

（１）総合企画委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5. 8	総合企画委員会	・ 「第 4 次茨城県地域福祉活動推進プラン」進行管理について	県総合福祉会館	23 人

（２）ボランティアセンター運営委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 6.27	ボランティアセンター運営委員会	・ 平成 26 年度茨城県ボランティアセンター事業について ・ 茨城県ボランティア基金助成事業の審査基準の確認及び共有について ・ 善意金について	県総合福祉会館	7 人
26. 7.25	ボランティアセンター運営委員会	・ 茨城県ボランティア基金助成事業検討小委員会について ・ 善意金払い出し基準の見直しについて ・ 茨城県ボランティア基金助成事業の内容について	県総合福祉会館	11 人
26.11. 6	ボランティア基金助成事業検討小委員会	・ 茨城県ボランティア基金助成事業検討小委員会設置の趣旨説明 ・ 正副委員長の選任について ・ 小委員会の進め方にについて ・ 茨城県ボランティア基金助成事業について	県総合福祉会館	3 人
27. 1.23	ボランティア基金助成事業検討小委員会	・ 茨城県ボランティア基金助成事業について ・ 善意金について	県総合福祉会館	4 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 3. 5	ボランティアセンター運営委員会	・ 平成 26 年度茨城県ボランティアセンター実施状況について ・ 平成 27 年度茨城県ボランティアセンター事業について ・ 平成 27 年度茨城県ボランティア基金助成事業について ・ 善意金について	県総合福祉会館	11 人

（３）茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 6.11	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 1 回運営委員会	議題 ・ 茨城県民間社会福祉施設等退職手当支給制度契約解除について 報告 ・ 平成 25 年度事業報告及び収支決算について	県総合福祉会館	8 人
26. 12.16	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 2 回運営委員会	報告 ・ 退職手当支給制度の財政検証について 議題 ・ 退職手当支給制度について	県総合福祉会館	9 人
27. 2.20	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 3 回運営委員会	議題 ・ 退職手当支給制度の掛金の見直し（案）について ・ 検討委員会の設置（案）について ・ 茨城県内の社会福祉法人数及び退職手当加入状況について	県総合福祉会館	7 人
27. 3.10	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 4 回運営委員会	議題 ・ 規程の一部改正（案）について ・ 平成 27 年度事業計画（案）について ・ 平成 27 年度収入支出予算（案）について ・ 資金運用状況について	県総合福祉会館	6 人

（４）茨城県福祉人材センター運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 7. 2	茨城県福祉人材センター運営委員会	・ 正副委員長の選出について ・ 平成 26 年度事業について ・ 作業部会の設置について ・ 新任研修受講者に対するアンケートの集計結果について	日赤茨城県支部	11 人
27. 3.17		・ 平成 26 年度事業の執行状況について ・ 平成 27 年度の事業計画について	県総合福祉会館	10 人

（５）茨城わくわくセンター運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26.6.17	茨城わくわくセンター運営委員会	・ 平成 25 年度事業報告及び決算について ・ 平成 26 年度事業計画及び予算について	県総合福祉会館	12 人

３　社会福祉大会の開催及び参加

（１）茨城県社会福祉大会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 6.13	第 1 回主催者事務打ち合わせ会	・ 第 63 回社会福祉大会の運営の課題について ・ 第 64 回社会福祉大会役員名簿（案）について ・ 第 64 回社会福祉大会開催日程（案）について ・ 第 64 回社会福祉大会開催スケジュールについて	県総合福祉会館	4 人
26. 6.25	第 2 回主催者事務打ち合わせ会	・ 大会開催要綱（案）について ・ 大会日程・役割分担（案）について ・ 大会宣言（案）について ・ 講演リストについて ・ 運営委員会の開催について	県総合福祉会館	4 人
26. 7.16	第 1 回大会運営委員会	・ 第 64 回茨城県社会福祉大会について	県総合福祉会館	25 人
26. 8.19	第 2 回大会運営委員会	・ 第 64 回茨城県社会福祉大会について	県総合福祉会館	26 人
26. 8.19	顕彰審査委員会	・ 第 64 回茨城県社会福祉大会における本会会長表彰候補者の審査について ・ 第 64 回茨城県社会福祉大会における本会会長が感謝の意を表する者の報告について	県総合福祉会館	17 人
26.10.16	第64回茨城県社会福祉大会	・ オープニングアトラクション ・ 記念講演「講談で語るみんなで支える高齢社会」 ・ 式典	小美玉市小川文化センターアピオス	911 人

４　広　報

広報誌「いばらきの社会福祉」発行

- 1 回あたり 9,000 部を 4 回発行（№294～№297）し、会員のほか、広く配付した。
- 特別号を 699,000 部作成し、水戸市社協を除く各市町村社協を通じて県下全世帯に配付した。
- ホームページ及び Facebook ページの適切な運用に努めた。

５　地域福祉・ボランティアの推進

（１）市町村社協への支援・援助

①　会議･研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.18	市町村社協業務担当者会議	・ 基調説明 ・ 事業説明 ・ 分科会「地域福祉・ボランティア担当」／「日常生活自立支援事業担当」	県総合福祉会館	80 名

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5.29	日常生活自立支援事業新任専門員研修会	・ 講義「法テラス活用法について」 ・ 事業説明 ・ ネットワークづくり ・ 講義「筑西市における日常生活自立支援事業の取り組みについて」	県総合福祉会館	38 人
26. 6.18	日常生活自立支援事業専門員会議	・ 事業説明 ・ 協議	県総合福祉会館	48 人
26. 6.19	新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム（市町村社協トップセミナー）	・ 基調説明「介護保険制度の改正について」 ・ 基調講演「新しい地域支援のあり方とは」 ・ パネルディスカッション「新しい地域支援の仕組みを考える～安心して暮らせる地域を皆でどのように創るか～」 ・ 名刺交換・交流会	つくば国際会議場／ＣＡＳＡエポカルつくば店	290 名
26. 7. 9	第 1 回ボランティア担当職員・コーディネーター研修会	・ 講義及びワークショップ「ボランティアコーディネーターの役割を（再）認識し市民の活動参加を促進する」	県立健康プラザ	28 人
26. 7.23	成年後見センター実施社協における連絡会議	・ アンケート結果報告 ・ 各団体の成年後見制度への取り組み状況報告 ・ センター実施社協の課題・成果等の紹介 ・ 協議・情報交換	県総合福祉会館	20 人
26. 7.28	市町村社協事務局長会総会・研修会	【総会】 ・ 平成 25 年度事業報告について ・ 平成 25 年度収入支出決算について ・ 平成 26 年度事業計画（案）について ・ 平成 26 年度収入支出予算（案）について ・ 報告「全社協地域福祉推進委員会」 ・ 説明「茨城県内社協女性職員地域福祉を考える会（仮称）の発足」 ・ 説明・報告・連絡「県社協からの説明・報告・連絡」 【情報交換会】 ・ 新任事務局長の紹介 ・ 情報交換会 【研修会】 ・ 職員一人ひとりの可能性を引き出す～コーチングの世界～	県総合福祉会館	50 人
26. 9. 8	第 2 回ボランティア担当職員・コーディネーター研修会	・ 講義及び演習「災害ボランティアセンター設置訓練」	ふるさと交流館リフレこかい	33 人
26. 9.17	市町村社協「地域包括支援センター」連絡会議	・ 自己紹介 ・ 説明「介護保険制度改正について（地域支援事業を中心に）」 ・ 報告事項（実態調査結果） ・ 各センターの今年度の新たな取り組みについて ・ 研究協議（提出協議事項）	県総合福祉会館	26 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 9.29	市町村社協職員特別研修会	・ 講話「知って役立つ法律講話」 ・ 行政説明「生活保護法の基礎知識 ・ 行政説明「生活困窮者自立支援制度」	県市町村会館	76 人
26. 9.29	第 3 回ボランティア担当職員・コーディネーター研修会	・ 講義及び演習「災害ボランティアセンター設置訓練」	取手市福祉交流センター	24 人
26.12. 1	日常生活自立支援事業生活支援員現任研修	・ 講義「統合失調症・躁うつ病　疾病の経過と治療」 ・ 講義「利用者への支援とは～対等の関係で支援するということ」	県総合福祉会館	217 人
26.12. 9	市町村社協経理担当職員研修会（第 1 回）	・ 講義・演習「かゆいところに手が届く社協会計の実務」 ・ 相談会	県総合福祉会館	54 人
27. 1.13	市町村社協経理担当職員研修会（第 2 回）	・ 講義「新会計基準における決算業務」 ・ 相談会	県総合福祉会館	48 人
27. 1.28	市町村社協人事・労務管理担当研修（県市町村社協事務局長会研修会･連絡会議）	【連絡会議】 ・ 説明「社会福祉法人の在り方の見直し」・「社協のコンプライアンス」・「生活困窮者自立支援法」・「日常生活自立支援事業補助金について」・「改正介護保険法について」・「絆づくり市町村社協チャレンジ応援モデル指定事業について」 ・ 連絡「本会の名称を語る詐欺まがいの電話勧誘への対応について」 ・ 案内「市町村社協職員特別研修への参加について」・「平成 27 年度実施予定事業への現時点の考え方について」 【研修】 ・ 講義「社会福祉協議会における人事・労務管理のポイント」	県総合福祉会館	48 人
27. 2. 3	市町村社協職員特別研修会	・ 講義「遺言・相続について～事例をとおして学ぶ～」 ・ 講義「生活困窮者自立支援制度と市区町村社協への期待」 ・ 講義「家庭裁判所の仕組みと成年後見制度の実態について」	県市町村会館	52 人

② 調査

・ ボランティア体験月間への取組み調査 体験月間（7～8 月）における市町村社協等主催の青少年（児童・生徒等）のボランティア活動の実態を市町村社協に調査依頼。県社協でとりまとめて冊子にし、県・市町村社協・関係団体等に配付。 ※県内 44 市町村のうち、 33 市町村において 76 の事業を実施 ・ ボランティア把握状況調査 市町村社協で把握・登録しているボランティアの団体数・個人数及び具体的な活動内容の調査を市町村社協に依頼。県社協で取りまとめ、県・市町村社協・関係団体等にメール送信し、ボランティアの実態把握と活動促進等に活用。 ※ボランティア把握団体数 2,910 団体 把握人数 117,148 人

③ 相談事業

相談形態	・ 来所相談 ・電話相談
主な相談内容	・ 定款・緒規程、経理、事業、講師紹介、視察先紹介 他

④ 団体への協力

茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会への協力

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会への協力

⑤ 地域福祉活動推進の助成事業

事 業 名	事 業 内 容	助成金額
「絆づくり」市町村社協チャレンジ応援モデル指定事業	【2 年目】つくば市社協、小美玉市社協	各 500,000 円
	【1 年目】下妻市社協	300,000 円

（2）福祉コミュニティづくり県民運動の推進

① 会議･研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
26. 9. 4	第 1 回はんどちゃん運動推進委員会	・ 今年度のはんどちゃん運動の取り組みについて ・ 福祉コミュニティづくり推進のについて ・ サロン拡充支援事業について	県総合福祉会館	12 人
26.11.25	第 2 回はんどちゃん運動推進委員会	・ はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金について ・ 福祉コミュニティづくり推進のつどいについて	県総合福祉会館	14 人
26.11.25	第 1 回はんどちゃん運動推進小会議	・ 小会議設置のふりかえり ・ はんどちゃん運動の取り組みについて	県総合福祉会館	7 人
27. 2.17	ふれあい・いきいきサロンつくり方講座（ホップ編）	・ 学び１「茨城県内のサロンの現状とはんどちゃんネットワーク運動」 ・ 学び２「たまり場ぁ～ばの五感直感たまり場賛歌」 ・ 学び３「自己紹介・仲間づくり」 ・ 学び４「サロンにかける希望を語る」	県総合福祉会館	30 人
27. 2.24	福祉コミュニティづくり推進のつどい／ふれあい・いきいきサロンつくり方講座（ステップ編）	・ 講演「楽しみ＋αのサロンとは」 ・ 鼎談「お節介ではない“世話焼きサロン”になるために必要なこと」 ・ 井戸端談義「ひと工夫してみっぺ！」 ※サロンつくり方講座（ステップ編:学び５）	フェリヴェールサンシャイン（水戸市）	172 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
27. 3. 3	ふれあい・いきいきサロンつくり方講座（ジャンプ編）	・ 学び６「サロン運営に必要なファシリテーションの視点」	県総合福祉会館	30 人

② 助成事業

事　業　名	対　　象	金　額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金	・ ステップアップ助成金（既設サロン活動強化）6 団体	300,000 円
	・ スタート助成金（サロン新規設置支援）　4 団体	198,000 円

③ 広報・啓発

・サロン活動実践事例集の作成・配布　300 部

・広報紙「いばらきの社会福祉」における県内サロン活動を支援する団体等の紹介　4 か所

（３）福祉教育関係事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26.11. 17	福祉教育推進セミナー	・ 講演 「福祉教育の現状とこれからの方向性」 ～サービスラーニングから考える福祉教育の新たな展開～ ・ 福祉教育への取組実践発表等（学校教員 2 人・社協職員 2 人）及び講評・質疑	茨城県総合福祉会館	90 人

（４）広報・啓発活動

事　　項	回数等	内　　容
1　県社協広報誌「いばらきの社会福祉」	4 回	１回あたり 9,000 部作成　計 36,000 部
2　情報提供	随時	本会ホームページ及び Facebook ページでボランティア情報提供等を掲載。

（５）市町村社協との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
130 回	市町村社協の組織・活動の強化促進を図るため、事務局体制の整備、地域福祉活動・ボランティア活動の支援・連携を図った。

（６）関係機関、団体等との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
102 回	行政、関係団体、学校等の主催する講座・研修・会議等に本会職員が出席し、連携を図った。

（７）出前講座

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5.16	北茨城市社協支部長等会議	・ 講義「地域における支部活動の充実について」	北茨城市地域福祉交流センター	本会から１人
26. 5.23	那珂市ボランティア連絡協議会研修会	・ 講義「今、改めてボランティアとは」	那珂市高齢者福祉センター	本会から１人
26. 6. 13	小学校福祉体験学習支援	・ 車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験の支援　　対象：3 年児童	水戸市立寿小学校	本会から２人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 6.26	笠間市社協地域支援事業勉強会	・ 講義「社会福祉協議会における地域支援事業・生活困窮者自立支援事業 ・ 説明「成年後見センターの取り組みについて」	笠間市社会福祉協議会友部支所	本会から２人
26. 6.27	総合的な学習の時間「福祉体験教室」	・ 講話、アイマスク体験支援　　４年児童「目が不自由な人への支援について」	水戸市立稲荷第二小学校	本会から１人
26. 7. 3	東海村はーとふる会員研修会	・ 講話「ボランティア活動のあり方」 対象：地域支援Ｖはーとふる会員	東海村Ｖ市民活動センター	本会から１人
26. 8.26	守谷市福祉教育推進担当者研修会	・ 講話「学校における福祉教育の推進」 対象：福祉教育担当小中学校教員	守谷市立守谷中学校	本会から１人
26. 9. 2	つくば市社協役員・評議員研修会	・ 講義「社協を取り巻く環境と課題について」	つくば市役所	本会から１人
26.10.11	「希望の翼」ボランティア研修会	・ ボランティアに関する講話並びに福祉体験（車いす・アイマスク・高齢者疑似）支援	茨城県開発公社ビル	本会から１人
26.10. 4	防災大学	・ 講義「災害とボランティア活動」	かすみがうら市千代田公民館	本会から１人
26. 11.7	交通バリアフリー教室（茨城運輸主催）	・ 高齢者疑似体験の体験支援・講話 対象：6年児童	水戸市立赤塚小学校	本会から１人
26.11.18	在宅福祉サービスセンター茨城県連絡会コーディネーター研修会	・ 講義「介護保険制度改正後のインフォーマルサービスのあり方」	下妻市千代川公民館	本会から２人
26.11.18	笠間市ボランティア入門講座	・ 講話「ボランティアを始めよう」 対象：笠間市ボランティアサークル	笠間市友部社会福祉会館	本会から１人
26.11.22	日産労連クリスマスチャリティー公演・車いす体験支援	・ 体験支援・講話「チャリティー公演に招待する車いす利用者への支援について」 対象：チャリティー公演スタッフ	小美玉市小川文化センター	本会から２人
26.11.26	いばらきコープくらしの助け合いの会介護保険制度学習会	・ 講義「介護保険改正で変わること」	コープ水戸店コミュニティルーム	本会から１人
26.12. 4	笠間市赤十字奉仕団友部分団・災害救援ボランティア「友援の会」合同研修会	・ 講義「災害時におけるボランティアセンターの役割」	笠間市社会福祉会館	本会から１人
27. 2.14	神栖市市民活動支援センター講演会	・ 講義「災害発生時のボランティア活動について」	神栖市保健・福祉会館	本会から１人
27. 3.10	介護・福祉体験教室	・ 講話、高齢者疑似体験・車いす体験の活動支援　　対象：１～３年生	水戸平成学園高等学校	本会から２人
27. 3.16	支え合いマップづくり研修会	・ 講義「支え合い・助け合い活動の必要性福祉マップとは」 ・ グループワーク「あるとこマップづくり」、「新たな支え合い活動・助け合い活動を考える」	城里町七会保健福祉センター	本会から１人

（８）ボランティア・市民活動振興対策事業

①ボランティア・市民活動フェスティバル

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26.12.21	ボランティア・市民活動フェスティバル2014「安心した地域生活を送るために“ワタシ”ができること」	・ トークリレー『語っていいとも！いばらきのボランティア・市民活動の話（わ）！！』 ・ クリスマススペシャルプレゼンツ「クリスマスお菓子グランプリ」 ・ 分科会（全５分科会） 「知ってる？成年後見制度って？-自分や家族にも関わる可能性が？！-」 「心のバリアフリーを実現するためのレクリエーション」 「『地域ぐるみで子育て』～子どもの居場所・寄り添い活動～」 「お茶とお菓子とエコサージュ～就労支援とボランティア活動」 「カタリ場ワークショップ」	常磐大学	240 人

②ボランティア・市民活動との連携・協働

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.24	県央ボランティア連絡会設立総会	・ 県央ボランティア連絡会会則（案）について ・ 役員選出 ・ 平成 26 年度事業計画（案）について ・ 平成 26 年度収入支出予算（案）について	水戸市福祉ボランティア会館	本会から１人
26. 6. 3	コープのまなび場・災害に強い地域づくり	・ 講演「東日本大震災の経験から、次の災害に備えるために」 ・ 説明「茨城県社会福祉協議会の防災の取り組み」	県総合福祉会館	本会から１人
26. 6. 5	いばらき保健福祉友の会総会	・ 活動報告と方針提案 ・ グループミーティング ・ 役員承認 ・ 交流会	県総合福祉会館	本会から１人
26. 6. 5	ＪＴ　ＮＰＯ助成事業・成果発表会	・ 助成金交付式 ・ 助成団体による事業概要発表 ・ 情報交換	ＪＴ水戸支店	本会から１人
26. 6.27	いばらきコープくらしの助け合いの会全体交流会	・ 活動報告 ・ グループ交流	ＪＡ水戸会館	本会から１人
26. 6.29	ナルク水戸定時総会	・ 2013 年度事業報告及び活動報告、決算報告 ・ 2014 年度事業計画、収支予算 ・ 運営委員改選 ・ 特別講演	県総合福祉会館	本会から１人

（９）防災ボランティア関係事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 9.11	防災ボランティア養成研修会(取手市社協共催)	・ 日本赤十字社 救急法基礎講習 ・ 防災対応ゲームクロスロード ・ 講義「災害ボランティアの実際」	取手市福祉交流センター	27 人
26.11.24	防災ボランティア養成研修会(ひたちなか市社協共催)	・ 日本赤十字社 救急法基礎講習 ・ 防災対応ゲームクロスロード ・ 講義「災害ボランティアの実際」	ひたちなか市総合福祉センター	20 人

（１０）茨城県防災ボランティアネットワーク関係

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 1.27	防災ボランティアネットワーク世話人会	・ 平成 25 年度事業報告について ・ 平成 26 年度事業計画(案)について ・ 平成 26 年度定期総会について ・ e コミュニティプラットフォームについて	日本赤十字社茨城県支部	6 人
27. 2. 6	防災ボランティアネットワーク総会	・ 平成 25 年度事業報告について ・ 平成 26 年度事業計画(案)について ・ e コミュニティプラットフォームについて	日本赤十字社茨城県支部	16 人
27. 3. 7 ～8	静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練	・ 話題提供 ・ ワークショップ ・ 情報共有会議	静岡市民文化会館	本会から 1 人

（１１）ボランティア活動推進の補助事業

事　　業　　名	事　業　内　容	補助金額
福祉教育協力学区指定事業助成	茨城町社協、坂東市社協、城里町社協 水戸市社協、桜川市社協　　計 5 市町社協	1,000,000 円

（１２）善意金（寄付金）の受入と指定払い出し及び助成

社会福祉への善意の寄付金により、県内の福祉施設・団体等への指定払い出しを行うほか、小規模団体等からの申請により事業費助成を行った。

① 善意金の預託

	金　　額	備　　考
寄　　付　　金	8,252,358 円	30 件（②預託内訳のとおり）
前年度繰越金	8,831,512 円	
合　　計	17,083,870 円	A（④の払い出し準備金へ）

② 善意金の預託内訳と払い出し金額及び払い出し先

預　託　者　名	金　額	指　定　払　出　先
茨城県ＰＴＡ連絡協議会	100,000 円	茨城県視覚障害者協会
	100,000 円	茨城県手をつなぐ育成会
	100,000 円	茨城県肢体不自由児父母の会連合会
	200,000 円	茨城県社会福祉協議会（交通遺児福祉基金）
常陽新聞社	30,000 円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
業電社	9,320 円	茨城県社会福祉協議会（ボランティア基金）

預　託　者　名	金　額	指　定　払　出　先
親友会	30,000 円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
茨城県遊技業防犯協力会	150,000 円	茨城県いのちの電話
	25,000 円	茨城県身体障害者福祉団体連合会
	25,000 円	茨城県視覚障害者協会
	25,000 円	茨城県聴覚障害者協会
	25,000 円	茨城県身体障害者福祉協議会
	25,000 円	茨城県肢体不自由児者父母の会連合会
	25,000 円	茨城県手をつなぐ育成会
	25,000 円	茨城県母子寡婦福祉連合会
	600,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
	75,000 円	茨城県社会福祉協議会(ボランティア基金)
茨城県ばら切花研究会	44,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
関東陸運振興センター	1,000,000 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
住友林業(株)安全協力施行店　水戸支部	40,726 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
モアナスターズ	30,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	105,000 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
日本バーテンダー協会 茨城県本部 茨城支部	53,803 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
茨城北部　読売会	100,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
匿名	1,000,000 円	茨城県児童福祉施設協議会
海老根　道雄	30,000 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会	123,575 円	茨城県児童福祉施設協議会
ＮＰＯ法人モバイル・コミュニケーション・ファンド	500,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
茨城県ヤクルト協会	300,000 円	茨城県社会福祉協議会(はんどちゃんネットワーク運動)
(一社)日本自動車販売協会連合会	1,000,000 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
茨城新聞文化福祉事業団	1,500,000 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
大洗シーサイドホテル	7,802 円	茨城県社会福祉協議会（ボランティア基金）
富士企業(株)	320 円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
東京海上日動火災保険(株)	111,330 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
大洗町交通安全母の会	10,000 円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
(株)セイコマート茨城地区事務所	604,606 円	茨城県社会福祉協議会（ボランティア基金）
小計ａ24 件（指定払い出し寄付金）	8,130,482 円	Ｂ（④の指定払い出し金額へ）36 件
水郷会	50,000 円	茨城県社会福祉協議会 （無指定のため善意金助成へへ）
友榮会	20,000 円	
水戸協同病院	27,850 円	
わくわく元気アップ講座受講者	2,000 円	
丸大食品(株)首都圏特販営業課	21,644 円	
匿名	382 円	
小計ｂ 6 件（無指定分寄付金）	121,876 円	

預　託　者　名	金　額	指　定　払　出　先
合　　計　30 件	8,252,358 円	

③　善意金助成

申請者及び助成先	助成金額	備　　考
日本ブラインドテニス連盟関東地区協会	50,000 円	
茨城県児童福祉施設長会	50,000 円	
（公財）プラン・ジャパン	36,000 円	海外援助福祉基金を経由して払い出し
払い出し事務費	1,512 円	金融機関手数料
合　　計　　3 ヶ所	137,512 円	Ｃ（④の善意金助成金額へ）

④　善意金繰越金（払い出し可能金額）

	金　　額	備　　考
払い出し準備金	17,083,870 円	Ａ（①の合計金額）
指定払い出し金額	8,130,482 円	Ｂ（②の小計ａ金額）
善意金助成金額	137,512 円	Ｃ（③の合計金額）
次年度繰越金額	8,815,876 円	Ａ－（Ｂ＋Ｃ）

（１３）善意品（寄贈物品）の受入と払い出し

社会福祉への善意の寄贈品を、指定された県内の福祉施設・団体等に払い出しを行った。

善意品の預託と指定払い出し状況

内　容（預託者）	件数	数　量　等	指　定　払　出　先
使用済み切手	179 件	約 5,465,252 枚	平成 26 年度換金額 532,500 円（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動助成金へ）
使用済みカード	46 件	約 30,930 枚	
ハガキ	15 件	約 1,946 枚	
車いす（日産プリンス茨城販売株式会社）	1 件	10 台	社会福祉施設 10 ヶ所
記念Ｔシャツ（公益財団法人報知社会福祉事業団）	1 件	24 枚	社会福祉施設 3 ヶ所
ぶどう狩り招待（早川ぶどう園）	1 件	43 名	社会福祉施設 3 ヶ所
クリスマスチャリティー公演招待（日産労連）	1 件	626 名	社会福祉施設 37 ヶ所
紙おむつ（いばらきコープ生活協同組合）	1 件	大人用 20 袋	小美玉市社協
		ベビー用 69 袋	同仁会乳児院
ジャイアンツカレンダー（公益財団法人報知社会福祉事業団）	1 件	10 本	県立あすなろの郷
デジタル簡易無線機（常陽ボランティア倶楽部）	1 件	3 台	県社協
米（特定非営利活動法人フードバンク茨城）	1 件	60kg	ＮＰＯ法人ＮＧＯ未来の子どもネットワーク
清涼飲料水（特定非営利活動法人フードバンク茨城）	3 件	142,416 円相当	県社協（『チャレンジ塾』） 県内ＮＰＯ法人
福祉巡回車（生命保険協会茨城県協会）	1 件	軽自動車 2 台	常陸太田市社協・小美玉市社協
カレンダー・手帳（株式会社デンソー）	1 件	カレンダー32 本 手帳 10 冊	県社協

内　容（預託者）	件数	数　量　等	指　定　払　出　先
電話お願い手帳・ふれあい速達便（ＮＴＴ東日本千葉事業部茨城支店）	1 件	各 500 部	茨城県聴覚障害者協会 茨城県中途失聴・難聴者協会
車いす(株式会社ツルハホールディングス／クラシエホールディングス株式会社)	1 件	10 台	社会福祉施設 10 ヶ所
プロ野球招待（公益財団法人報知社会福祉事業団）	1 件	48 名	社会福祉施設 6 ヶ所
お菓子（リスカ株式会社）	5 件	2,215,680 円相当	社会福祉施設 42 ヶ所

（１４）ボランティア基金事業

基金利息及び指定寄付により、県内のボランティア・市民活動団体等や市町村社協に対する活動費の助成を行った。

①ボランティア基金への預託等

	金　　額	備　　考
寄　　付　　金	696,728 円	4 件（善意金経由）
基 金 利 息 収 入	20,898,348 円	債券、国債等利息
使用済み切手等換金収入	532,500 円	年度内 7 回換金
合　　計	22,127,576 円	

②ボランティア基金の払出

	助成内訳	助成金額
ボランティア団体助成	14 団体	3,124,624 円
市町村社協ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ助成	27 社協	4,967,768 円
合　　計		8,092,392 円

（１５）交通遺児福祉基金事業

預託金及び基金利息により、県内の交通遺児に対し就学奨励金（50,000 円／１人）の贈呈を行った。

①交通遺児福祉基金への預託等

	金　　額	備　　考
寄　　付　　金	2,456,330 円	7 件（善意金経由）
基 金 利 息 収 入	3,300,000 円	債券、国債等利息
合　　計	5,556,330 円	

②交通遺児福祉基金の払出

	金　　額	備　　考
就　学　奨　励　金	1,450,000 円	合計 29 名（小学校卒業 13 名　中学校卒業 16 名）

（１６）海外援助福祉基金

（公財）プラン・ジャパンを通じ、スリランカ国の児童 1 名に対し、援助を行った。

	金　　額	備　　考
寄　　付　　金	0 円	善意金より 36,000 円を振替
払　　出　　金　　等	36,000 円	1 件

（１７）児童福祉週間等の推進

①　児童福祉週間（5 月 5 日～11 日） ・　実施要領の配布（全社協作成）　・　ポスターの斡旋（全社協作成）　2 機関・団体　522 枚

②　老人保健福祉週間（9 月 15 日～21 日） ・　実施要領の配布（全社協作成）　・　ポスターの斡旋（全社協作成）　6 機関・団体　493 枚

（１８）社会福祉施設の地域貢献活動への支援

事　　業　　名	事業概要（会議事項）	助成ヶ所
地域貢献活動支援事業	市町村社協が中心となり、地域の社会福祉施設と協働して事業を実施し連携を図った。	常総市社協外 6 社協

（１９）関係機関･団体との共催・後援事業等

実施時期	事　　業　　名	会　場	参加者
26. 5.25	第 16 回茨城県ゆうあいスポーツ大会	笠松運動公園　球技場	本会から 2 人
26. 8.29	第 65 回茨城県母子寡婦福祉大会	県立県民文化センター	本会から 3 人
26. 9.11	第 53 回茨城県老人クラブ大会	県立県民文化センター	本会から 6 人
26. 9.21	第 52 回茨城県身体障害者スポーツ大会	笠松運動公園	本会から 3 人
26.10.21	第 52 回手をつなぐ育成会茨城大会	県立県民文化センター	本会から 1 人
26.11.16	第 17 回茨城県視覚障害者福祉大会	県総合福祉会館	本会から 1 人
27. 3. 1	第 17 回茨城県聴覚障害者大会 in しもつま	下妻市民文化会館	本会から 1 人

６　日常生活自立支援事業の実施

（１）　会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 5.22 他 4 回	契約締結審査会	・ 福祉サービス利用援助契約の締結能力判定審査、解約審査 ・ 困難対応ケース等の相談 ・ 成年後見制度との併用について　等	県総合福祉会館	延 48 人
26. 6.18	平成26年度日常生活自立支援事業専門員会議	・事業説明 ・協議	県総合福祉会館	48 人
26. 5.29	日常生活自立支援事業新任専門員研修会	・ 講義「法テラス活用法について」 ・ 事業説明 ・ ネットワークづくり ・ 講義「筑西市における日常生活自立支援事業の取り組みについて」	県総合福祉会館	38 人
26.12. 1	日常生活自立支援事業生活支援員現任研修	・ 講義「統合失調症・躁うつ病　疾病の経過と治療」 ・ 講義「利用者への支援とは～対等の関係で支援するということ」	県総合福祉会館	217 人
26.12. 4	金融機関業務打ち合わせ	・ 説明「日常生活自立支援事業の実施状況について」 ・ 説明「金融機関の本事業についての対応要望」	ＪＡバンク	3 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
27. 2. 3	市町村社協職員特別研修会	・ 講義「遺言・相続について～事例をとおして学ぶ～」 ・ 講義「生活困窮者自立支援制度と市区町村社協への期待」 ・ 講義「家庭裁判所の仕組みと成年後見制度の実態について」	県市町村会館	52 人

（２）　会議、研修への講師派遣

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	派遣者
26. 8.21	生活支援員研修会	・ 日常生活自立支援事業について	龍ケ崎市地域福祉会館	1 人
26. 9.11	担当者連絡調整会議	・ 契約締結審査会について ・ 質疑応答	福祉プラザ	1 人
26.10.28	鹿行社協職員の会研修会	・ 日常生活自立支援事業について ・ 質疑応答	行方市麻生公民館	1 人

（３）福祉サービス利用援助契約締結利用者数　　818 名（うち生活保護受給者数 333 名）

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
443	134	198	43	818

（４）日常生活自立支援事業基幹的社協　　全市町村（44）社協実施

委　託　先	利用者数	委　託　先	利用者数	委　託　先	利用者数
水　戸　市　社　協	99 人	つ　く　ば　市　社　協	24 人	つくばみらい市社協	18 人
日　立　市　社　協	57 人	ひたちなか市社協	31 人	小　美　玉　市　社　協	30 人
土　浦　市　社　協	20 人	鹿　嶋　市　社　協	34 人	茨　城　町　社　協	16 人
古　河　市　社　協	47 人	潮　来　市　社　協	14 人	大　洗　町　社　協	9 人
石　岡　市　社　協	2 人	守　谷　市　社　協	17 人	城　里　町　社　協	5 人
結　城　市　社　協	2 人	常陸大宮市社協	2 人	東　海　村　社　協	18 人
龍ケ崎市社協	15 人	那　珂　市　社　協	16 人	大　子　町　社　協	17 人
下　妻　市　社　協	12 人	筑　西　市　社　協	18 人	美　浦　村　社　協	9 人
常　総　市　社　協	60 人	坂　東　市　社　協	6 人	阿　見　町　社　協	10 人
常陸太田市社協	19 人	稲　敷　市　社　協	11 人	河　内　町　社　協	3 人
高　萩　市　社　協	4 人	かすみがうら市社協	2 人	八千代町社協	5 人
北茨城市社協	22 人	桜　川　市　社　協	5 人	五　霞　町　社　協	1 人
笠　間　市　社　協	48 人	神　栖　市　社　協	10 人	境　町　社　協	14 人
取　手　市　社　協	14 人	行　方　市　社　協	4 人	利　根　町　社　協	6 人
牛　久　市　社　協	24 人	鉾　田　市　社　協	18 人		

７　福祉サービス第三者評価事業

（１）福祉サービス第三者評価事業

福祉サービス第三者評価の実施

社会的養護関係施設（児童養護施設）における第三者評価義務化に伴い、訪問調査等を実施した。

①　受審施設

・　茨城育成園、内原和敬寮、石崎学園、誉田養徳園、みどり園、樹学園、自生園、チルドレンズ・ホーム、つくば香風寮

（２）指定認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）・指定小規模多機能型居宅介護事業所外部評価事業

外部評価の実施

指定認知症対応型共同生活介護事業所及び、指定小規模多機能型居宅介護事業所から依頼を受け、外部評価を実施した。

①　受審事業所

・　指定認知症対応型共同生活介護事業所外部評価受審数　：　94 事業所

・　指定小規模多機能型居宅介護事業所外部評価受審数：　35 事業所

（３）広報啓発

評価事業に関するホームページ(ＵＲＬ：http://www.ibaraki-welfare.or.jp/)を運営し、評価事業の普及啓発や評価結果の公表など、利用者への情報提供を行った。

また、独立行政法人福祉医療機構が運営するＷＡＭＮＥＴに外部評価の評価結果を掲載した。

８　生活福祉資金等貸付事業

（１）生活福祉資金貸付事業の実施

①　生活福祉資金運営委員会を年 12 回開催

②　生活福祉資金申込・貸付決定状況

	申　　込		決　　定	
	件数	金　額	件数	金　額
総合支援資金	13 件	3,449,864 円	11 件	2,459,864 円
福祉資金	82 件	25,525,000 円	77 件	23,622,000 円
教育支援資金	34 件	26,912,000 円	34 件	26,800,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	8 件	44,797,200 円	7 件	44,797,200 円
合　　計	137 件	100,684,064 円	129 件	97,679,064 円

（２）生活福祉資金等貸付事業関係会議等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加対象者
26. 5.28	生活福祉資金等担当者研修会	説明 ・ 生活福祉資金等貸付制度 ・ 初回相談から申請書作成までの流れ ・ 生活福祉資金の償還業務について ・ 生活福祉資金等貸付相談の対応	水戸合同庁舎	市町村社協職員
26. 9.29	市町村社会福祉協議会職員特別研修会	講義 ・ 知って役立つ法律講話 ・ 生活保護法の基礎知識 ・ 生活困窮者自立支援制度	茨城県市町村会館	市町村社協職員

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加対象者
27. 2. 3	市町村社会福祉協議会職員特別研修会２	講義 ・ 遺言・相続について－事例をとおして学ぶ－ ・ 生活困窮者自立支援制度において市町村社協に期待すること ・ 家庭裁判所の仕組みと成年後見制度の実態について	茨城県市町村会館	市町村社協職員
27. 3.30	生活福祉資金担当職員研修会	説明 ・ 生活福祉資金貸付制度の運用の変更点について ・ 生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度との連携について	茨城県総合福祉会館	市町村社協職員
26.11.19 ～ 27. 2.26	生活福祉資金償還相談会	市町村社協における償還相談会等の実施	水戸市外 18 市町村	借受人、連帯借受人、連帯保証人、民生委員、市町村社協職員等

９　社会福祉施設との連携及び機能強化

（１）研修及び啓発事業等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 9. 3	保育所食育研修会	・ パネルディスカッション「子どもの食を豊かにするために」 ・ 講演「楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～」	県民文化センター	297 人
26.11. 8	第36回茨城県保育大会	・ 式典・表彰 ・ 講演「働くことの喜びはディズニーランドで教わった」 ・ 龍雲　コンサート	常陸大宮市文化センター・ロゼホール	562 人
27. 1.29 ～30	主任保育士研究協議会	・ 講演「新制度の基本的理解と今後の課題」 ・ 講演「問われる保育の理念と質の向上」 ・ 講演「保育士のメンタルケア」 ・ 分科会（7 分科会）	ホテルレイクビュー水戸 県立県民文化センター	392 人
27. 2.13	保育研究発表会	・ 研究発表（7 ブロック） ・ 講評 ・ まとめ	県民文化センター	304 人
27. 3. 9	保育所長研究協議会	・ 講演「新制度の基本的理解と今後の課題～保育所の方向性と可能性を考える～」 ・ 行政説明	ホテルレイクビュー水戸	326 人

（２）福祉医療機構借入金利子補給費補助事業

事　業　名	補　助　金	摘　　要
民間社会福祉施設整備借入金利子補給費補助事業	106,900,000 円	180 施設

（３）他団体への協力・連絡調整・その他

団　体　名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
茨城県保育協議会	・ 理事会（1 回） ・ 忘年会（1 回）	県総合福祉会館外	本会から延 3 人
茨城県児童福祉施設協議会	・ 総会（1 回） ・ 第 65 回野球大会・第 45 回ソフトボール大会 ・ 第 56 回バレーボール大会・第 45 回ドッジボール大会 ・ 新年情報交換会 ・ オレンジリボンたすきリレー	県総合福祉会館外	本会から延 12 人
茨城県児童福祉施設長会	・ 施設長会（5 回） ・ 総務委員会（5 回） ・ 研修委員会（2 回） ・ 研修会（2 回） ・ 事例研究会（4 回） ・ 県との情報交換会（1 回） ・ 県との懇談会（1 回） ・ 県と県里親連合会との懇談会（1 回） ・ 県外視察（1 回）	県総合福祉会館外	本会から延 44 人
茨城県心身障害者福祉協会	・ 総会（1 回） ・ 施設長会議（2 回） ・ 理事会（3 回） ・ 知事を囲んでの懇談会（2 回）	県総合福祉会館外	本会から延 10 人
茨城県救護施設協議会	・ 総会（1 回） ・ 施設長会（1 回） ・ 研修委員会（4 回） ・ 職員研修会（1 回） ・ 利用者交流会（1 回）	県総合福祉会館外	本会から延 13 人
茨城県母子生活支援施設連絡協議会	・ 合同研修会（1 回）	県立母子の家	本会から 1 人
茨城県里親連合会	・ 理事会（3 回） ・ 評議員会（2 回） ・ 研修・広報委員会（4 回） ・ 関東甲信越静里親研究協議会代表者会議(2回) ・ 第 60 回関東甲信越静里親研究協議会静岡大会 ・ 第 42 回「杉の子」のつどい ・ 茨城県里親大会（茨城県里親連合会 60 周年記念事業） ・ 県と県児童福祉施設長会との懇談会	県総合福祉会館外	本会から延 31 人
茨城県民間社会福祉事業従事者互助会	・ 理事会（2 回） ・ 評議員会（2 回）	県総合福祉会館	本会から延 6 人
茨城県老人福祉施設協議会	・ 総会（2 回） ・ 理事会・役員会（5 回） ・ 「介護の日」写真展（4 会場） ・ 「介護の日」関連事業 ・ 介護職員合同入職式 ・ 施設職員バレーボール大会（1 回） ・ 施設職員ボウリング大会（1 回） ・ 知事との懇談会（2 回） ・ 第 50 回関東ブロック老人福祉施設研究総会参加（栃木県）	県総合福祉会館外	本会から延 22 人

団　体　名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
茨城県社会福祉施設経営者協議会	・ 総会（1 回） ・ 正副会長会議（2 回） ・ 理事会（3 回） ・ 委員会（3 回） ・ 福祉職場 2014 フェスティバル（1 回） ・ 講演会（3 回） ・ 懇談会（1 回） ・ 社会福祉予算意見提出式（1 回） ・ 全国経営協ブロック会議 ・ 全国社会福祉施設経営者大会	県総合福祉会館外	本会から延 25 人

（４）関係機関・団体との共催・後援事業（福祉施設関係）

実施時期	事業・会議名	事業内容	会　　場	参加者
26.12. 6	ナイスハートふれあいフェスティバル 2014	・ 障害者自身による音楽・ダンス等の文化活動の発表会	県立県民文化センター	4,800 人

（５）茨城県民間社会福祉施設職員退職手当支給制度事業運営状況

① 加入状況

加入施設 ＼ 施設区分	施設（ヶ所） 総数 ※1	施設（ヶ所） 加入 ※2	加入人員（人）※4
救護施設	4	3	100
児童福祉施設	58	39	957
保育所	311	259	4,379
老人福祉施設	594	366	4,172
身体障害者福祉施設　※3	1	1	6
障害者自立支援施設	261	151	2,378
合　　計	1,229	819	11,992
百　分　率		66.7%	

前　年　度	加入施設数	807 施設	前　年　比	加入施設数	12 施設増(1.5%増)
	加 入 人 員	11,640 人		加 入 人 員	352 人増(3.0%増)
	平成 26 年 3 月 31 日時点			平成 27 年 3 月 31 日時点	

※1　施設総数は、茨城県保健医療福祉施設等一覧に掲載されている社会福祉施設数（平成 26 年 4 月 1 日現在）及び、平成 26 年 4 月 1 日以降本会に加入した施設数を含む。

※2　加入施設数は、契約の方法（複数施設あっても 1 施設の契約で加入する等）が様々なため、実施設数と異なる。

※3　施設区分の身体障害者福祉施設に、茨城県立点字図書館が区分される。

※4　加入人員は、平成 27 年 3 月 31 日時点で登録されている数。

ア　新設法人施設・既存法人設施設及び休止廃止施設・契約解除施設内訳

加入施設 ＼ 施設区分	新設法人施設 施設数	新設法人施設 契約時新規加入人員	既存法人施設 施設数	既存法人施設 契約時新規加入人員	休止・廃止施　設	契約解除施　設
児童福祉施設	0	0	2	144	0	0
保育所	0	0	8	55	0	2
老人福祉施設	0	0	11	41	2	6
障害者自立支援施設	0	0	4	0	3	0
合　　計	0	0	25	240	5	8

イ　新規加入人員　1,749 人（平成 27 年 3 月 31 日時点）

② 退職手当金支給状況

ア　自己都合退職（A）

人　員	退職給付金 （イ）	付加給付金 （ロ）	本会支給額 （イ）＋（ロ）＝（ハ）
1,132	93,694,074	192,857,660	286,551,734

イ　自己都合外退職者（B）

人　員	退職給付金 （イ）	付加給付金 （ロ）	本会支給額 （イ）＋（ロ）＝（ハ）
7	9,114,726	6,079,700	15,194,426

ウ　本会支給金額

（A）＋（B）　＝　1,139 人　　301,746,160 円

エ　対前年度比較

- 自己都合退職　1,132 人　（前年同期　1,129 人）
- 自己都合外退職　7 人　（前年同期　9 人）
- 業務上の傷病・死亡退職　0 人　（前年同期　0 人）
- 犯罪等による退職　0 人　（前年同期　0 人）
- １年未満適用外退職　257 人　（前年同期　175 人）

計　1,396 人　（前年同期　1,313 人）

※参考　　退職者平均加入期間　　6 年 7 ヶ月

③ 資金の運用状況

（単位：千円）

預金種別	資金額	平均利率	利子収入等 平成 26 年度	構成割合	基準とする 配分構成	変更許容 範囲
預 貯 金	815,606	－	－	13.6%	15%	± 10%
国　　債	3,576,748	1.34%	48,285	59.7%	55%	± 10%
地 方 債	1,599,615	1.47%	23,669	26.7%	20%	± 10%
仕 組 債	0	5.10%	30,627	0%	10%	± 10%
合　　計	5,991,969	1.71%	102,581	100.0%	100%	± 10%

※　退職手当積立金・基金の充足率は　146.7%

（充足率とは、加入職員全員が退職した場合に支給できる割合を示したものです。）

④　会　議

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.23	茨城県社会福祉協議会等事業説明会	・ 会員等について ・ 茨城県福祉人材センター事業について ・ 社会福祉従事者の研修事業について ・ 社会福祉施設職員退職手当共済事業について ・ 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度について ・ 茨城県民間社会福祉事業従事者互助会の事業について ・ 福利厚生センターについて ・ 苦情解決事業について ・ 茨城県社会福祉施設経営者協議会について ・ しせつの損害補償事業について ・ その他	県総合福祉会館	9 人
26. 8.29	社会福祉施設職員等退職共済事業事務打合会	・ 退職手当共済事業の執行状況等について ・ 退職手当共済事業の目的等について ・ 業務委託について ・ 業務委託における事務処理について ・ 業務委託、における事務処理にかかる留意事項について	独立行政法人福祉医療機構	本会から 1 人
26.11. 7	関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会	・ 協議・情報交換（各団体からの協議題による情報交換） ・ 研修　「金融政策の動向と共済制度」 「悪質な投資勧誘にだまされないために」 「税と社会保障の一体改革について」	大宮ソニックシティ	本会から 1 人

（６）福利厚生センター事業

①　会員数（平成 26 年 10 月 1 日現在）

121 法人・団体（230 事業所）　5,607 人

※県内法人数　489（平成 27 年 3 月 31 日現在）

②　会員交流事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者 (助成者人数)
26. 6.21	鎌倉あじさい寺明光院・鶴岡八幡宮と小町とおり散策	・ 会員相互の交流を図った。	神奈川県	40 人
26. 6.28	シルク・ドゥ・ソレイユ　オーヴォと築地散策		東京都	40 人
26. 7.12	お台場散策・浅草クルージングと東京スカイツリー		東京都	40 人
26. 7.19	氷の上のミュージカル　ディズニーオンアイス　デア・トゥ・ドリーム		東京都	40 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者 (助成者人数)
26. 8. 9	セ・リーグ公式戦　巨人 VS 中日 in 東京ドーム		東京都	40 人
26. 9.27	劇団四季リトルマーメイド観劇とアメリカンランチバイキング　（常磐・県西）		東京都	60 人
26.10.11	新歌舞伎座 10 月公演ツアー　（常磐道･鹿行）		東京都	60 人
26.11. 8 ～ 10	茨城空港発　九州（福岡）別府温泉・黒川温泉2泊3日		福岡	28 人
26.11.13	臨時列車で行くディズニーリゾート（県民の日）		千葉県	61 人
26.11.14 ～16	茨城空港発　秋の京都 2 泊 3 日		京都	41 人
26.11.30	ワインの夕べ		茨城県	109 人
26.12.20 ～21	ぱしふぃっくびいなす号　ワンナイト・クリスマスクルーズ		東京都	14 人
26.12.13	イルミネーション　仙台光のページェントと松島散策		宮城県	79 人
27. 1.18	横浜みなとみらい　自然体感ミュージアム		神奈川県	37 人
27. 2. 7	横浜中華街散策		神奈川県	79 人
27. 2.15	世界らん展と築地散策		東京都	41 人
27. 3. 7	御殿場アウトレット（常磐道バス 2 台）		静岡県	69 人

③　加入促進個別訪問

ア　既加入法人数：10 ヶ所

イ　未加入法人数：17 ヶ所

④　会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.18	福利厚生センター新任担当者研修会	・ 福利厚生センターの概要等 ・ 都道府県事務局の業務 ・ 質疑	東京都「福利厚生センター」	本会から 1 人
26. 6.16	福利厚生センター全国連絡会議	・ 新事業説明 ・ 意見交換会	東京都「福利厚生センター」	本会から 1 人

（７）義務教育教員免許志願者介護等体験受入調整事業

①　受入調整結果

	調整人数	終了人数	大学等数	受入施設数
第１四半期	223 人	216 人	13 校	89 施設
第２四半期	398 人	388 人	31 校	126 施設
第３四半期	311 人	305 人	16 校	107 施設
第４四半期	315 人	304 人	6 校	79 施設
合　　計	1,247 人	1,213 人	延　66 校	延　401 施設

前年同期	調整人数	1,102 人	前　年　比	調整人数	13.1%増
	終了人数	1,079 人		終了人数	12.4%増
	大学等数	延　73 校		大学等数	9.6%減
	受入施設数	延　433 施設		受入施設数	7.4%減
	平成 26 年 3 月 31 日現在			平成 27 年 3 月 31 日現在	

※　平成 10 年度からの終了人数　20,416 人

②　会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 1.21	介護等体験オリエンテーション	・ 介護等体験担当者講話	茨城大学	本会から 2 人
27. 1.28				本会から 2 人

③　会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.25	義務教育教員免許志願者介護等体験事務担当者会議	・ 平成25年度実施状況及び平成26年度上期受入可能状況について ・ 義務教育教員免許志願者介護等体験事務処理要領について ・ 学生に対する事前研修の実施状況について ・ 施設、大学等からの協議事項、要望事項等について	県総合福祉会館	20 人

１０　福祉人材センターの運営

（１）社会福祉事業従事者の確保に資する事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	求職者
26. 6.28 26.11.28	福祉の就職総合フェア 2014～就職相談会～	福祉職場への就職希望者を対象に、求人事業所との就職相談や求職登録・情報提供等を行った。	水戸駅ビルエクセル 小山グランドホテル	105 人 51 人
26. 6.25 27. 1.21 2.18 3.18	福祉人材センターサテライト	県内大学へ出向き、福祉施設に就労を希望する学生の資格相談、求職登録等を行った。	常磐大学	0 人 10 人 2 人 3 人
27. 2.10			茨城ｷﾘｽﾄ教大学	1 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	求職者
26.11. 1	福祉職場2014フェスティバル	広く県民に対し、福祉職場への理解と就労意欲の促進を図るため開催した。	水戸駅ビルｴｸｾﾙ水戸駅北口ﾍﾟﾃﾞｽﾄﾘｱﾝﾃﾞｯｷ	約1,200人
27. 2. 8	福祉のお仕事魅力発信セミナー	魅力ある職場作りを行うことで、人材確保・定着につながるよう、事業所向けセミナーを開催した。	フェリヴェールサンシャイン	41人
	福祉のお仕事魅力発見セミナー	福祉の仕事の意義ややりがい、おもしろさ等、魅力について知る機会を設け、福祉職への理解を深めることを目的に求職者セミナーを開催した。		25人
26. 6.25	福祉の職場説明会「就職ガイダンス」	福祉の職場に就職を希望する学生や進路指導担当者及び県民等を対象に、福祉職場紹介や資格等についての知識・理解が更に深められるよう情報提供を行い、就職活動を支援した。	常磐大学	73人
通年	福祉人材無料職業紹介事業	インターネットによる福祉の職場への就労斡旋と求人事業所への人材確保を推進した。	県総合福祉会館	別表参照
年12回	福祉人材情報誌「うぇるわーく」の作成・発行	求人情報の提供を図るため「うぇるわーく」を作成し配布した。 1回250部発行（希望求職者等）		
年12回	求職登録者一覧の作成・発行	求職者情報の提供を図るため「求職登録者一覧」を作成し配布・配信した。 1回当たりの配信数360部（郵送を含む） （県内福祉施設、求人事業所等）		

① 福祉人材センター利用状況集計表（求職状況実績）

項目	内　　容	求職登録者数
性　別	男	421
	女	699
	合計	1,120
年齢別	10 歳代	9
	20 歳代	203
	30 歳代	287
	40 歳代	321
	50 歳代	225
	60 歳～64 歳	49
	65 歳代以上	26
	合計	1,120
勤　務形態別	正職員	678
	非正規職員	232
	不問	210
	合計	1,120
地域別（複数回答）	県北地区	282
	県央地区	611
	県南地区	276
	県西地区	140
	鹿行地区	101
	合計	1,410

項目	内　　容	求職登録者数
分野別（複数回答）	高齢者	801
	障害者（身体）	426
	障害者（知的）	105
	障害者（精神）	36
	児童	275
	社会福祉協議会（現業員含む）	234
	その他福祉	15
	福祉・介護以外	0
	合計	1,892
資格別（複数回答）	介護福祉士	317
	社会福祉士	129
	精神保健福祉士	41
	保育士	76
	社会福祉主事	209
	児童指導員	48
	介護支援専門員	186
	ヘルパー（1・2・3 級）	581
	セラピスト（OT・PT）	1
	看護師・准看護師・保健師	41
	管理栄養士・栄養士	8
	調理師	28
	教員（幼稚園・小・中学校・高校・養護教諭）	97
	その他	88
	合計	1,850

項目	内　　容	求職登録者数
職種別（複数回答）	介護職	643
	相談・支援・指導員	419
	介護支援専門員	168
	ホームヘルパー	149
	保育士	61
	社会福祉協議会専門員	153
	セラピスト（OT・PT）	1
	看護職	35
	事務職	173
	栄養士	4
	調理員	33
	その他	149
	合計	1,988

② 福祉人材センター利用状況集計表（求人数実績）

項目	内　　容	件数	人数	項目	内　　容	件数	人数
分野別	高齢者	2,443	5,674	学歴別（最終学歴）	大学卒	57	133
	障害者（身体）	241	529		短大卒	32	74
	障害者（知的）	106	213		専門学校卒	323	854
	障害者（精神）	20	32		高校卒	563	1,364
	児童（保育所・児童養護・障害児施設等）	228	573		不問	2,121	4,674
	社会福祉協議会（現業員含む）	17	28		合計	3,096	7,099
	その他	41	50	資格別（複数回答）	介護福祉士	1,233	3,233
	合計	3,096	7,099		社会福祉士	335	617
職種別	介護職	1,402	3,821		精神保健福祉士	58	107
	相談・支援・指導員	414	799		保育士	242	660
	介護支援専門員	163	207		社会福祉主事	268	597
	ホームヘルパー	150	376		児童指導員	37	65
	保育士	156	449		介護支援専門員	262	377
	社会福祉協議会専門員	3	4		ヘルパー（1・2・3級）	1,729	4,367
	セラピスト（OT.PT）	39	61		セラピスト（OT.PT）	94	156
	看護職	524	1,006		看護師・准看護師・保健師	997	1,876
	事務職	35	46		管理栄養士・栄養士	43	64
	栄養士・調理員	63	114		調理師	12	19
	その他	147	216		教員（幼稚園・小・中・高校・養護教諭）	68	236
	合計	3,096	7,099		不問	475	1,219
勤務形態別	正職員	1,726	4,195		その他	44	66
	非正職員	1,370	2,904		合計	5,897	13,659
	合計	3,096	7,099	所在地別	県北	717	1,729
					県央	1,014	2,027
					県南	819	2,023
					県西	352	920
					鹿行	114	233
					不問	80	167
					合計	3,096	7,099

③ 福祉人材センター利用状況集計表（紹介・採用数実績）

項目	内　　容	紹介数	採用数	項目	内　　容	紹介数	採用数
分野別	高齢者	236	127	職種別	介護職	147	87
	障害者（身体）	33	25		相談・支援・指導員	68	50
	障害者（知的）	11	13		介護支援専門員	22	8
	障害者（精神）	5	3		ホームヘルパー	5	4
	児童	14	13		保育士	6	5
	社会福祉協議会（現業員含む）	5	7		社会福祉協議会専門員	0	2
	その他	2	3		セラピスト（OT・PT）	0	0
	合計	306	191		看護職	5	4
勤務形態別	正職員	186	116		事務職	4	2
	非正職員	79	52		栄養士・調理員	4	2
	合計	265	168		その他	4	4
					合計	265	168

※　分野別紹介数・採用数は事業所の運営が多岐にわたる所もあるため、他項目とは異なる。

④ 福祉人材センター利用状況（来所した方で、求職相談者を除く）
求人票の閲覧者数 509 人（H26.4～H27.3）

（２）関係機関・団体との連絡調整及び連携事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5.10 26. 5.17 26. 6.30 26.12. 3	県立高等学校就職支援キャラバン隊	就職を希望する高校生とその保護者を対象に、就職の現状を説明するとともに、就職に対する意識の向上を図り、円滑な就職への支援を行った。	取手第二高校	45 人
			総和高校	12 人
			石下紫峰高校	93 人
			中央高校	50 人

１１　福祉・介護人材確保のための緊急支援

（１）　福祉・介護人材確保特別対策事業

事　　業　　名	事業概要（会議事項）	雇用人数
福祉・介護職員確保特別対策事業	現在、職についていない失業者等を対象に、一時的な雇用・就職の機会を与え、将来の福祉・介護職の人材養成確保に努める。	201 人

（２）潜在的有資格者等再就業促進事業

事　　業　　名	事業概要（会議事項）	参加者
潜在的有資格者等再就業促進事業	福祉・介護分野への就労に関心のある方を対象に、事前に福祉職場への雰囲気や介護内容等を体験する機会を提供する。	延 135 人 延 280 日

（３）福祉・介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務

事　　業　　名	事業概要（会議事項）	事　務　局
福祉･介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務	複数の小規模事業所等がネットワークを形成し、事業所間の連携による求人活動及び広報啓発事業等を通じて、人材確保・育成を図る。	①特別養護老人ホーム博慈園 ②特別養護老人ホームユーアイの家 ③わかさ羽原ビレッジ ④グループホーム堀安の舎 ⑤小川ケアセンターみどりの風 ⑥グループホーム美里 ⑦デイホームお母さんの家 ⑧グループホームえがお ⑨グループホーム堀安の舎 ⑩介護老人保健施設もえぎの ⑪松寿園リハビリケアセンター ⑫特別養護老人ホーム鮎川さくら館

（４）福祉・介護人材マッチング機能強化事業

①　地区別就職面接会の開催

実施時期	事業・開催地区	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 6.14	就職面接会（県南）	福祉職場への就職希望者を対象に、求人事業所との就職面談や相談等を行った。	ホテルマロウド筑波	26 人
26. 7.19	就職面接会（県北）		ホテル天地閣	27 人
26. 8. 9	就職面接会（県西）		結城市民文化センターアクロス	12 人
26. 8.24	就職面接会（県央）		笠間市立友部公民館	12 人
26. 9. 6	就職面接会（鹿行）		サンロード鹿島	21 人
26. 9.21	就職面接会（県北）		高萩市総合福祉センター	14 人
26.10. 4	就職面接会（県南）		馴柴コミュニティーセンター	14 人
26.12. 9	就職面接会（県南）		土浦わかものハローワーク	5 人

実施時期	事業・開催地区	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26.12.10	就職面接会（県南）		土浦わかものハローワーク	8 人
27. 1.24	就職面接会（県西）		常総市生涯学習センター	11 人
27. 2. 8	就職面接会（県央・県北）		フェリヴェールサンシャイン	28 人

② 求人事業所の開拓

事業概要（会議事項）	訪問箇所数
福祉人材センターへの求人登録推奨や採用後の職員の状況確認等を目的に事業所を訪問した。	特別養護老人ホーム等　17　回

③ ハローワーク訪問活動

事業概要（会議事項）	ハローワーク	実施回数	参加者数
福祉人材センターのキャリア支援専門員による出張相談業務を行った。 平成26年6月よりハローワーク龍ケ崎での相談を開始した。	日　立	24 回	22 人
	筑　西	24 回	49 人
	土　浦	23 回	7 人
	常陸鹿嶋	23 回	13 人
	龍ケ崎	10 回	15 人

④ 福祉・介護就職相談会（キャリア支援専門員による出張相談）

事業概要（会議事項）	会　場	実施回数	参加者数
求職者の開拓として、出張の福祉・介護就職相談会を開催した。	①結城市社会福祉協議会	10 回	14 人
	②常陸太田市社会福祉協議会	10 回	7 人
	③高萩市社会福祉協議会	10 回	10 人
	④笠間市社会福祉協議会	10 回	16 人
	⑤牛久市社会福祉協議会	10 回	22 人
	⑥守谷市社会福祉協議会	10 回	5 人
	⑦坂東市鉾田中央公民館	9 回	9 人
	⑧鉾田市社会福祉協議会	10 回	6 人
	⑨東海村社会福祉協議会	10 回	7 人
	⑩阿見町社会福祉協議会	10 回	9 人

⑤ 「ふくし職働」の開催

事業概要（会議事項）	会　場	参加者数
・暮れ六つ講座 ・木になる講座 ・おひさま講座 ・夕暮れしゃべり場 ・仕事とこころの相談	県総合福祉会館 2 階 ふくし職働ルーム	7 コース　19 回　延 88 人参加 8 コース　 9 回　延 89 人参加 4 コース　17 回　延 43 人参加 32 回　延 191 人参加 23 回実施　相談件数　42 件

⑥　「小・中学校福祉キャラバン隊」

実施時期	学校名	実施内容	参加者数
26. 5.28	守谷市立大井沢小学校	直接学校を訪問し、福祉のお仕事の内容や、やりがい・魅力等について子どもたちに伝える。現役福祉施設職員をキャラバン隊メンバーに迎え、福祉の仕事の楽しさについて語っていただく。 あわせて、福祉・介護に関連した体験（セラピーロボットパロ等を使用）を行い、福祉や福祉のお仕事について興味を持ってもらえるよう取り組みを行った。	111 人
26. 6.17	稲敷市立あずま東小学校		35 人
26. 6.20	鉾田市立当間小学校		15 人
26. 7. 3	常陸大宮市立大宮小学校		62 人
26. 7. 5	つくば市立島名小学校		73 人
26. 7. 8	守谷市立松前台小学校		62 人
26. 7.14	土浦市立山ノ荘小学校		20 人
26. 7.15	神栖市立深芝小学校		96 人
26. 7.16	笠間市立笠間小学校		86 人
26. 9. 3	取手市立白山小学校		64 人
26. 9.17	牛久市立牛久第二中学校		35 人
26. 9.24	取手市立山王小学校		34 人
26. 9.26	潮来市立大生原小学校		49 人
26.10. 8	小美玉市立小川小学校		56 人
26.10.10	日立市立久慈中学校		30 人
26.10.28	阿見町立本郷小学校		126 人
26.10.30	つくば市立田水山小学校		40 人
26.11.12	北茨城市立大津小学校		24 人
26.11.19	つくば市立並木小学校		63 人
26.11.25	かすみがうら市立佐賀小学校		37 人
27. 1.20	北茨城市立関本第一小学校		11 人
27. 1.22	つくば市立葛城小学校		21 人
27. 1.27	守谷市立高野小学校		72 人
27. 1.28	日立市立大みか小学校		56 人
27. 2. 3	つくば市立菅間小学校		17 人
27. 2.10	石岡市立葦穂小学校		17 人
27. 2.13	小美玉市立小川南中学校		107 人

⑦「福祉の魅力発見ツアー」

実施時期	実施場所	実施内容	参加者数
26.7.31	・中川学園調理技術専門学校 ・特別養護老人ホーム 桜川陽だまり館 ・ケアハウスハートピア水戸	調理体験、 高齢者施設見学、レクリエーション参加等	42 人
26.8. 5	・特別養護老人ホーム博慈園 ・サイバーダインスタジオ	高齢者施設見学、車椅子介助体験等 スタジオ見学	43 人

（５）介護福祉士等修学資金貸付事業

①　継続貸付者　36 名
　介護福祉士養成施設：29 名（内、生活費加算者 2 名）
　社会福祉士養成施設：　7 名

②　新規貸付者：0 名
　介護職員実務者研修受講者対象

（６）福祉・介護人材確保対策連携強化事業

① 構成団体 14 団体

② 茨城県福祉・介護人材確保対策連絡協議会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
26. 8. 7	茨城県福祉・介護人材確保対策連絡協議会（茨城県福祉人材センター運営委員会作業部会「ふわく（不惑）会」）	・ ふわく会の設置・運営について ・ ふわく会の代表・副代表の選出について ・ ふわく会の実施内容について	日赤茨城県支部	10 人
26. 9. 3		・ 福祉キャラバン隊の中学生向けカリキュラムについて ・ 福祉人材の確保・育成・定着に関する実態調査について	県総合福祉会館	13 人
27. 3. 6		・ 「福祉人材の確保・定着イメージアップ推進のための状況調査」について ・ 福祉キャラバン隊について ・ ふわく会について	日赤茨城県支部	10 人

③ 「福祉人材の確保・定着イメージアップ推進のための状況調査」の実施

調査期間：H26.12.19～H27.1.13

調査対象：無作為に抽出した福祉施設・事業所 1,203 箇所

上記に所属する新任職員 1 名、中堅職員 1 名、指導的職員 1 名 計 3 名 延 3,609 名

回答状況 事業所対象調査：444（回答率 36.9%）

職員対象調査：1,328（回答率 36.8%）

１２ 福祉人材の養成

① 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	受験者	合格者
26.10.26	介護支援専門員実務研修受講試験	介護支援専門員実務研修を受講する前提として、事前に必要な、保健・医療・福祉に関する専門的知識等を有していることを確認する。	大成女子高等学校 茨城キリスト教大学 流通経済大学 つくば国際会議場	3,750 人	632 人

② 介護支援専門員実務研修の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	修了者
27. 1.6	介護支援専門員実務研修	前期 1 日目（集合研修） ・ 介護保険制度の理念と介護支援専門員 ・ 要介護認定等の基礎 ・ 地域包括支援センターの概要	つくば国際会議場	623 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	修了者
26. 1.7 ～ 1.30	介護支援専門員実務研修	前期２日目･3 日目･4 日目（班別研修６班×3 日間） ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本 ・ アセスメントツール ・ 国際生活機能分類（ICF）の考え方とアセスメント ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術 ・ 受付及び相談と契約 ・ 苦情申し立てと権利擁護 ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術 ・ 相談面接技術の理解 ・ アセスメント、ニーズ把握の方法 ・ チェックポイントシートの記入方法 ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ 実習オリエンテーション 実習（居宅サービス計画作成） ・ 対象者の選定、アセスメント、居宅サービス計画書作成等	つくば研究支援センター 県総合福祉会館	
27. 2.25 ～ 3.25		後期１日目･2 日目･3 日目（班別研修６班×3 日間） ・ 介護予防支援（ケアマネジメント） ・ 実習事例報告演習 ・ チームアプローチ演習･サービス担当者会議 ・ モニタリングの方法 ・ 給付管理 ・ 研修のまとめ	つくば研究支援センター 県総合福祉会館	

③　介護支援専門員更新・再研修の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	修了者
26.10.3 27. 1.6	介護支援専門員更新研修 介護支援専門員再研修	前期１日目（集合研修） ・ 介護保険制度の理念と介護支援専門員 ・ 要介護認定等の基礎 ・ 地域包括支援センターの概要	県総合福祉会館	更新研修 133 人 再研修 132 人
26.10. 6 ～10.25 27. 1.7 ～ 1.30		前期２日目･3 日目･4 日目（班別研修３班×3 日間） ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本 ・ アセスメントツール ・ 国際生活機能分類（ICF）の考え方とアセスメント ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術 ・ 受付及び相談と契約 ・ 苦情申し立てと権利擁護 ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術 ・ 相談面接技術の理解 ・ アセスメント、ニーズ把握の方法 ・ チェックポイントシートの記入方法 ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ 実習オリエンテーション 実習（居宅サービス計画作成） ・ 対象者の選定、アセスメント、居宅サービス計画書作成等	つくば研究支援センター 県総合福祉会館	
26.12. 3 ～12.20 27. 2.25 ～ 3.25		後期１日目･2 日目･3 日目（班別研修３班×3 日間） ・ 介護予防支援（ケアマネジメント） ・ 実習事例報告演習 ・ チームアプローチ演習･サービス担当者会議 ・ モニタリングの方法 ・ 給付管理 ・ 研修のまとめ	つくば研究支援センター 県総合福祉会館	

④　介護支援専門員運営会議及びワーキング指導者会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 5.14	介護支援専門員実務研修及び更新・再研修運営会議	・ 実務研修及び更新・再研修に関するご意見・報告 ・ 実務研修及び更新･再研修カリキュラムについて	県総合福祉会館	28 人
26. 6.17 26. 6.18 26. 6.20 26. 6.23 26. 7.16	介護支援専門員実務研修及び更新・再研修ワーキングチーム会議	・ 実務研修及び更新･再研修カリキュラムについて	県総合福祉会館 つくば研究支援センター	延 24 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 9. 3	介護支援専門員更新・再研修運営会議	・ 講義・演習の進め方について ・ 使用テキストの検討について ・ 日程調整について ・ リーダー・講義・演習担当者の調整について	県総合福祉会館	19 人
26.11.26	介護支援専門員実務研修運営会議	・ 研修日程について ・ 研修指導者の調整について ・ リーダー・講義・演習担当者の選定について	県総合福祉会館	25 人

⑤北関東三県 介護支援専門員実務研修・更新再研修　担当者情報・意見交換会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
27. 3.26	北関東三県 介護支援専門員実務研修・更新再研修　担当者情報・意見交換会	・ 試験の実施について一部改正の解釈と考え方 ・ 試験実施体制と事務の流れについて ・ 過去の難事例について	とちぎ健康の森	7 人

１３　はんどちゃん人づくり研修等事業の実施

（１）茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会及びワーキングチーム会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
27. 3. 4	茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会・研修ワーキングチーム合同会議	・ 平成 26 年度研修事業実施結果について ・ キャリアパス対応新研修体系について ・ 平成 26 年度研修事業の基本的考え方について ・ 平成 27 年度研修計画について ・ 当面の研修企画について	県総合福祉会館	9 人

（２）研修事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 4.16 ～17 4.23 ～24 5.8 ～9 5.26 ～27	社会福祉施設等新任職員研修Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ	・ 福祉制度の動向 ・ 記録の書き方 ・ あいさつ・マナー ・ コミュンニケーション・メンタルヘルス	県総合福祉会館 土浦市亀城プラザ	315 人
26. 5.15 ～16	カウンセリング研修	・ カウンセリングとは何か ・ カウンセリング演習 ・ 援助的な聴き方の実際 ・ 人を援助する姿勢 ・ カウンセリングの基礎Ⅱ ・ 風通しの良いコミュニケーションのために	県総合福祉会館	62 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 6.12	接遇マナー研修	・ コミュニケーションスキルとしての接遇マナー	県総合福祉会館	260 人
25. 5.22 ～23 6.23 ～24	メンタルヘルスケア研修A・B	・ メンタルヘルスの現状 ・ ストレスへの対処（セルフケア） ・ ラインケア 他	県総合福祉会館	114 人
26.6.16 ～17	カウンセリング・ステップアップ研修	・ 人を支える姿勢と技法（Ⅰ）～心理臨床の文献を手がかりにして～ ・ 人を支える姿勢と技法（Ⅱ）～心理臨床の教材を用いて～ ・ リスニングをやってみよう　①②	県総合福祉会館	34 人
26. 6.26 ～27 27. 2. 4 ～ 5	リスクマネジメント研修A・B	・ リスクマネジメントとは ・ リスクの予測と評価 ・ 組織的にリスク管理を行うポイント ・ リスク対策会議演習　他	県総合福祉会館	164 人
26. 7. 9 ～10	研修担当者養成研修	・ 福祉人材育成と職場内研修の必要性 ・ 職員研修の考え方と推進方法 ・ さまざまな研修技法　他	県総合福祉会館	70 人
26. 7.16 ～17 7.30 ～31	コーチングスキル研修A・B	・ 求められるマネジメントとは ・ コーチングとは ・ 部下の開発レベルSLⅡ ・ コミュニケーションとは ・ 自己理解と他者理解　他	県総合福祉会館	126 人
26. 8. 5 ～ 6 10. 1 ～ 2	クレーム対応力強化研修A・B	・ クレームの基本的考え方 ・ クレーム対応の基本的スキル ・ クレーム対応の応用 ・ 職場における（クレーム対応の応用）体制の構築	県総合福祉会館	138 人
26. 8.27 ～28 9. 3 ～ 4 9.10 ～11	OJT マネジメント研修A・B・C	・ 指導的職員・リーダーの心構え ・ 後輩・部下の育成方法 ・ スタッフの離職防止のためのマネジメント ・ ケース検討	県総合福祉会館	175 人
26. 9. 6	社会福祉施設等職員安全運転研修～（特別業務運転者研修）	・ 安全運転の基本、運転適性検査等 ・ 安全運転に資する研修	安全運転中央研修所	28 人
26. 9.24 ～25	アクティビティ・ワーカー養成研修A・B	・ みんなが生き生きする遊びのいろいろ	県青少年会館	135 人
26.10.29 ～30	アンガーマネジメント研修	・ アンガーマネジメントとは 他	県総合福祉会館	84 人
26. 11. 6 ～ 7	子育て支援担当者研修	・ 「ペアレントトレーニングセッション　」	県総合福祉会館	65 人
26.11.10 ,21	相談援助業務担当者研修	・ 相談援助に必要とされる技術とは ・ 相談援助の実際	県総合福祉会館	71 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26.12.11	保育所保健担当職員研修	・ 気になる子どもを持つ保護者に対する支援 ・ 発達相談会	県総合福祉会館	126 人
27. 1.13	保育所保育士特別研修	・「豊かなコミュニケーションを育むために」～ことばによる表現力を養い人と響き合う力を	県総合福祉会館	164 人
27. 1.16	公開講座（子育て支援セミナー）	・ 父親が変われば、社会が変わる～男性の育児や地域参画～職場のワークライフバランス マネジメントの実践について	県総合福祉会館	33 人
27. 2.12～13	業務改善手法入門研修	・ 指導的職員の役割行動 ・ 部門組織活動の管理～組織活動における業務改善 ・ リーダーシップの基本	県総合福祉会館	80 人
27. 2.23	社会福祉法人管理・代表者介護職員研修	・事業の安定継続を目指す経営者の視座～経営幹部育成の視点とともに～」	県総合福祉会館	220 人
27. 2.25	保育所保育士研修	・ ほめ過ぎ、叱り過ぎはキケン！子どもを成長させるコミュニケーション ・ 「保育施設におけるリスク・マネジメント～保護者と保育士の安心のために」	県総合福祉会館	197 人
27. 3.3	社会福祉施設看護師研修	・ 「小児等の救急看護（緊急時の応急処置）」 ・ 「摂食・嚥下障害の利用者に対する看護」	県総合福祉会館	186 人
27. 3.6	社会福祉施設等給食担当職員研修	・ 楽しめる食事の提供について ・ パネルディスカッション「福祉事業所の食事提供を考える」～よりよいQOL 実現のために～	県総合福祉会館	264 人
27.3.10～11	ファシリテーション研修	・ ファシリテーションの技法とすすめ方	県総合福祉会館	67 人

１４　茨城わくわくセンター事業

（１）　生きがいと健康づくりに関する事業の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会　　場	参加者
26. 4 ～ 27. 3	元気シニアバンク事業	元気シニアバンクに登録した「茨城シニアマスター」の利用仲介を行った。	県内全域	登録 147 利用 301
26. 4 ～ 27. 3	いばらきねんりんスポーツ（交流）大会	ねんりんピック全国大会の各競技種目の選手選考会を種目団体に助成し開催した。 選考会実施種目(14 種目)	県堀原運動公園外	
26. 4 ～ 27. 3	「セカンドライフ茨城」支援事業	「セカンドライフ茨城」支援事業運営委員会が実施するイベント（施設見学等）を支援した。	水澤観世音を訪ねる旅外	1,716 人
26. 5 ～ 27. 1	わくわく元気アップ講座開催事業	生きがいと健康づくりをテーマに講座（総合講座と選択講座（絵画、園芸）の組合せ）を開催した。年間 20 回	県総合福祉会館外	50 人

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会　　場	参加者
26. 5 ～ 26.12	わくわくニュースポーツ推進員養成講習会	県レクリエーション協会の協力を得て、11種目のニュースポーツについて推進員を養成した。　開催日数　1期・2期各10日間	県堀原運動公園	1期25人・2期12人
26.10. 3 ～ 7	全国健康福祉祭選手等派遣事業	第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（10/4～10/7）へ、21種目について本県選手団を派遣した。	総合開会式 栃木県総合運動公園	178人
26.10.22	いばらきねんりんスポーツ大会	各市町村のチームを一堂に集めて、ねんりんピック全国大会の予選会を兼ねた大会を開催した。ゲートボール等5種目	県笠松運動公園	約1,300人
27. 2.21 ～ 2.27	いばらきねんりん文化祭開催事業	日本画、洋画、工芸、彫刻、書、写真の6部門の入選作品等734点を展示するとともに、児童の描いたお年寄りの絵を募集し、入賞作品41点を表彰・展示した。 茨城シニアマスターによるミニコンサートも実施した。	県立県民文化センター	3,096人 （入場者）

（２）生きがいと健康づくりに関する助成事業の実施

名　　称	補助額	補助先	補助箇所数
「高齢者はつらつ百人委員会」活動事業費補助金	3,500,000円	高齢者はつらつ百人委員会	5地域委員会
ニュースポーツ体験教室開催助成金	300,000円	NPO 法人わくわくニュースポーツクラブ	3地域

（３）総合情報誌「わくわくライフいばらき」の発行

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報等を掲載した情報誌を年４回発行した。

ア　発行日　　6月25日、9月25日、12月25日、3月25日

イ　発行部数　　各10,000部

ウ　配布先　　関係団体、公民館、病院、理美容店、わくわくサポーター等

１５　「第４次茨城県地域福祉活動推進プラン」の進行管理

（１）評価推進チームの設置及び開催

役職員を構成員とする評価推進チームを設置して、「第４次茨城県地域福祉活動推進プラン」の実施項目ごとの評価を行い、課題整理、対応策、今後の事業の方向性を示した。

開催日：3月19日、20日

（２）第４次茨城県地域福祉活動推進プラン進行管理等の印刷

・「第４次茨城県地域福祉活動推進プラン進行管理」（平成25年度），別冊「第４次茨城県地域福祉活動推進プラン実施計画」（平成26年度）を印刷（各200部）し，関係機関・団体等へ配布した。

１６　全国・関東ブロック会議への参加

（１）本県当番県

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 7. 3 ～ 4	第50回関東ブロック児童養護施設研究協議会	・ 永年勤続表彰 ・ 基調講演「「子どもの権利条約批准 20 周年、国連採択 25 周年にあたり、改めて児童養護施設の養育について考える－子どもの人権を守る最後の砦として、貧困や暴力の連鎖を断つ－」 ・ シンポジウム「今、児童養護施設に求められているもの」 ・ 分科会（４分科会）	水戸京成ホテル	271 人 本会から 5 人

（２）会議への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 4.25 ～ 26	都道府県・指定都市社協地域福祉担当（課）・ボランティア・市民活動センター所長会議	・ 行政説明 ・ 基調報告 ・ 担当者別会議Ⅰ ・ 担当者別会議Ⅱ ・ 災害ボランティア等に関する情報共有会議	東京都「全社協」外	本会から 3 人
26.5.7 ～ 8	全国健康福祉祭担当係長会議	・ ねんりんピック栃木 2014 について ・ ねんりんピックおいでませ！山口 2015 について ・ ねんりんピック長崎 2016 について ・ 総合開・閉会式会場等視察	栃木県「栃木県総合文化センター」外	本会から 1 人
26. 5.22 ～ 23	福祉人材センター職員研修（業務・法令理解編）	・ 福祉人材センター・バンクの業務と役割について ・ 福祉人材センター・バンクの無料職業紹介事業のながれと相談対応のポイント ・ 福祉人材センター業務推進に必要な個人情報保護の理解 ・ 無料職業紹介の役割と業務に必要な労働法規等法令の理解 ・ 求人・求職者対応業務の留意点	東京都「全社協」	本会から 2 人
26. 5.30	都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業所長会議	・ 行政説明 ・ 基調説明 ・ グループ討議	東京都「全社協」	本会から 2 人
26. 6. 9	春季関ブロ都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当部課長会議	・ 全体会Ⅰ ①平成 25 年度秋季研究協議会報告 ②基調説明 ③雪害等報告 ・ 分科会 「生活困窮者支援について」 「社協・生活支援活動方針について」 「関ブロ災害協定について」 「ボランティア・市民活動、福祉教育について」 ・ 全体会Ⅱ ①分科会報告 ②秋季研究協議会に向けた課題整理	東京都「東京ボランティア・市民活動センター」	本会から 1 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 6.12 ～13	社会福祉協議会活動全国会議(東京会場)	・ 行政説明「地域福祉、生活困窮者支援の動向について」 ・ 講演「生活困窮者支援への取り組みとこれからの地域福祉の展開」 ・ シンポジウム「新たな福祉課題・生活課題への対応にむけた地域の協働」 ・ 分科会３「地域における総合的な権利擁護体制の構築」	東京都　ニッショーホール・全社協	本会から １人
26. 6.16	福祉人材センター全国連絡会議	・ インパクトの高い介護人材確保対策に向けて ・ 保育人材確保に関する取り組み ・ 福祉人材センター事業の推進について ・ 福祉人材確保対策における連携の重要性と課題 ・ 事例報告 ・ 福利厚生センター事業について	東京都「全社協」	本会から １人
26. 7.10	第１回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	・ ブロック幹事交代報告 ・ 代表幹事及び代表幹事代理の選任 ・ 全推連平成 25 年度事業報告・決算報告 ・ 26 年度事業の実施状況 ・ 検討会　分野別事業事例の紹介	東京都「メルパルク東京」	本会から ２人
26. 7.10 ～11	第 55 回関東ブロック保育研究大会	・ 大会運営委員会 ・ 行政説明「子ども・子育て支援新制度について」 ・ 基調講演「人口減少時代における子育て支援と保育」 ・ 特別講演「MUSIC&MAGIC」～こどもの世界を彩る３つの魔法～ ・ 分科会	山梨県「コラニー文化ホール」	本会から ２人
26. 7.13	福祉のしごと就職フェア・in ちばにおける相談コーナー設置	・ 「福祉のしごと就職フェア・in ちば」開催時の相談コーナー設置協力及び相談対応	千葉県「幕張メッセ」	本会から ２人
26. 7.17 ～18	第 51 回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	・ 課題提起 ・ 分科会 ・ 全体会・講評 ・ 記念講演「人と人がつながるコミュニティデザイン」	栃木県「きぬ川ホテル三日月」	本会から ３人
26. 7.18	関東ブロック都県・指定都市社協総務部課長会議	・議事 (1)経営状況分析の手法と公開について (2)職員の勤務評価等の導入について (3)会長の専決事項について (4)労働契約法改正による無期契約への転換に対する対応について (5)産休・育休代替職員の雇用方法、身分について (6)職員退職給与積立預金について	神奈川県「ユニコムプラザさがみはら」	本会から １人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 7.20	「福祉の仕事就職フォーラム」における「関東ブロック県福祉人材センター相談コーナー」設置	・「福祉の仕事就職フォーラム」開催時の相談コーナーの設置協力及び相談対応	東京都「東京国際フォーラム」	本会から２人
26. 8. 4 ～ 5	全国福祉教育推進セミナー	・行政説明「地域福祉行政の動向について」「学校・家庭・地域との連携・協力について」 ・基調講演「今、求められる福祉教育のあり方について～」 ・シンポジウム「地域ぐるみの福祉教育を考える」 ・分科会「学校と社会福祉協議会の連携により福祉教育を推進する」	東京都「全社協」	本会から１人
26. 8.27	第 23 回関ブロ福祉人材センター・バンク連絡協議会	・情勢説明 ・共通協議事項（4 項目） ・提案協議事項（15 項目）	東京都「全社協」	本会から１人
26. 9.11 ～ 12	関東ブロック都県･指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研究協議会	・基調説明 ・市区町村社協の生活福祉資金貸付事業への取り組みについて ・生活困窮者自立支援制度における都道府県社協の役割について	埼玉県「四季の湯温泉　ヘリテイジリゾート」	本会から２人
26. 9. 24 ～ 25	都道府県・指定都市社協総務担当部・課長会議	・議事 (1)基調説明 (2)講義① (3)グループ・ディスカッション (4)講義②	東京都「全社協」	本会から１人
26. 9.25 ～26	社会福祉研修実施機関代表者連絡会議	情報交換・協議 ・「福祉職員キャリア パス対応生涯研修課程」の実施状況 ・介護支援専門員の研修制度の見直しに向けた検討状況 ・研修の企画・実施・効果測定等	ホテルアソシア静岡	本会から１人
26. 9.27 ～28	全国ボランティアフェスティバルぎふ	・記念講演「未来につなぐ白川びとの財産（たからもの）」 ・清流トーク・セッション「『知力』と『地力』の結集による新たな協働」 ・分科会（２９分科会）	長良川国際会議場	本会から３人
26. 9.28	ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会	・基調講演「あなたのまちの『顔の見える関係・居場所づくり』」 ・パネルディスカッション ・ワークショップ	岐阜都ホテル	本会から１人
26.10. 2	第 41 回国際福祉機器展への人材センターブースの出展	・福祉職場・仕事のＰＲ及び、福祉の仕事の就職希望者等に対する個別相談対応	東京都「東京ビックサイト」	本会から２人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26.11. 9	福祉のしごと就職フェア・in ちばにおける相談コーナー設置	・「福祉のしごと就職フェア・in ちば」開催時の相談コーナー設置協力及び相談対応	千葉県「幕張メッセ」	本会から1人
26.11.13	第 32 回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	・基調講演「乳児院養育の原点・子どもと養育者のアタッチメント」 ・講義①「脳の活性化を促すブレインジムエクササイズ」 ・講義②「乳幼児の遊びとおもちゃ」 ・講義③「乳幼児のことばを育む～わらべうたから絵本まで」	東京都「KFC HALL＆Rooms」	本会から1人
26.11.20～21	秋季関ブロ都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会	・基調講義「滋賀の縁（えにし）創造実践センターの取り組みについて～地域で暮らすことを支える仕組み作りと実践を学ぶ～」 ・分科会Ⅰ 「生活困窮者自立支援事業への取り組みについて」・「ボランティア関係事業の取り組みについて」 ・分科会Ⅱ 「CSW の設置、養成研修等の取り組みや課題等について」・「福祉教育関係事業の取り組みについて」	群馬県「水上ホテル聚楽」	本会から2人
26.11.25	全国明るい長寿社会づくり推進機構実施事業テーマ別会議	・第1回会議検討テーマ「介護予防、健康づくり、スポーツ」 ・事例報告（本会発表）、情報交換等	東京都「メルパルク東京」	本会から1人
26.12. 9～10	社協ボランティア・市民活動センター担当職員研究セミナー	・基調講演「今、社協ＶＣに求められていること」 ・説明「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター強化方策 2015 について」 ・シンポジウム「これからの社協ＶＣのあり方を考える～強化方策を見据えて～」 ・分科会	東京都「全社協」	本会から1人
27. 1. 8	介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン説明会	・行政説明「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン（案）について」 ・実践報告「稲城市における介護予防・日常生活支援総合事業の早期移行に向けた取り組みについて」	東京都「ＴＫＰカンファレンスセンター」	本会から1人
27. 1.27	全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関東甲信越ブロック会議	・全推連幹事会結果 ・ブロック協議意見交換 ・次回開催当番県（長野県）	山梨県「山梨県立図書館」	本会から1人
27. 2.19	第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	・厚労省説明 ・全推連平成27年度事業計画・収支予算(案) ・第28回全国健康福祉祭やまぐち大会概要説明 ・長寿社会開発センター事業説明	東京都「メルパルク東京」	本会から2人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 3. 6	第10回権利擁護･虐待防止セミナー	・ 基調講演「生きづらさを抱える人への関わり～共に生き、共に支え合うために～」 ・ 実践報告「精神障害のある人への生活支援の現状と課題」～権利擁護と虐待防止の取り組み	東京都「全社協」	本会から1人

１７　新たな福祉ニーズへの対応

（１）生活困窮者自立支援法への対応

①　会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 9. 1	生活困窮者自立支援法に関する研修会	・行政説明「生活困窮者自立支援法の概要と県内の状況」 ・基調説明「社会福祉協議会の対応状況」 ・実践発表「生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施して」	県総合福祉会館	73人

②　低所得世帯児童・生徒への学習支援事業の検討

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26. 5.27	視察	・ 同様事業の視察 「ＮＰＯ法人ＮＧＯ未来の子どもネットワーク」無料塾・子ども食堂	龍ヶ崎市内	3人
26. 7. 7	事務局内会議	・ 学習支援事業実施回数、場所、チラシの配布、ボランティアの募集方法について	県総合福祉会館	3人
26. 7. 9	ボランティア募集チラシの配布	・ 関係機関へチラシ配置を依頼	関係機関6ヶ所	2人
26. 7.16	児童・生徒募集チラシの配布	・ 会場の学区学校、関係機関、スーパー等へチラシの配布・配置を依頼	関係機関10ヶ所	2人
26. 7.24	事務局内会議	・ 児童生徒及びボランティアの受付方法、ボランティア事前説明会、報道機関への対応について	県総合福祉会館	3人
26. 7.29	事務局内会議	・ ボランティア事前説明会について	県総合福祉会館	3人
26. 7.31	事務局内会議	・ 第１回『チャレンジ塾』の流れ、報道機関の対応について	県総合福祉会館	3人
26. 8. 5	ボランティア事前説明会	・ 事業説明、ボランティア登録、今後の運営について	県総合福祉会館	11名
26. 8. 7	事務局内会議	・ 報道機関への対応について、準備物確認	県総合福祉会館	3人
26. 8.15	事務局内会議	・ 第１回『チャレンジ塾』の反省、夏期特別講習の実施について	県総合福祉会館	3人
26. 9.24～25	学習支援員スキルアップ研修	・ 静岡県主催セミナーへの参加 ・ 同様事業の視察 「静岡学習支援ネットワーク」	静岡県沼津市･静岡市	8人
26.11.18	学習支援員会議	・ 保護者アンケート結果を踏まえた課題検討	県総合福祉会館	10人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
27. 2.22	第 5 回活動報告会「支援の一歩、つながりの軌跡～子どもの貧困問題を考える」	・ 同様事業の報告会への参加 ・『チャレンジ塾』の取組中間報告	静岡県静岡市	本会から 3 人
27. 3.28	学習支援員会議	・ 平成 27 年度『チャレンジ塾』の運営について	県総合福祉会館	10 人
27. 3.29	トークイベント「子どもの貧困対策アクション大解剖＆これからの展開」	・ 同様事業のトークイベントへの参加 ・ トークセッション ・ 交流会	ラクトスポーツプラザ山科	本会から 2 人

② 低所得世帯児童・生徒への学習支援事業『チャレンジ塾』の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	児童・生徒参加者	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加者
26. 8. 9 ～ 27. 3.28	『チャレンジ塾』	【通常講習（延 17 回）：H26.8.9～12.13…第 2 土曜日／H27.1.10～3.28…毎週土曜日】 【夏期講習（延 4 回）：H26.8.21～30】 【冬期講習（延 4 回）：H26.12.26～H27.1.4】 【内容】 ・学習支援（毎回） ・学習支援員反省会（毎回） ・学習支援や子育て支援等に関する情報提供（随時） ・イベント…五色百人一首・ピザ作り・餅焼き・書初め・浮沈子実験・修了（卒業）祝等（適時）	県総合福祉会館	【通常講習】 延 146 人 【夏期講習】 延 20 人 【冬期講習】 延 32 人	【通常講習】 延 190 人 【夏期講習】 延 28 人 【冬期講習】 延 42 人

（2）福祉未来創造会議の実施

社会的包摂に向けた社会資源の連携を図るため、県社協内部の部間相互乗り入れを行い、新たな事業への取り組みについて検討を行った。また、検討された新たな事業を展開するため、水戸市社会福祉協議会及びモデル地域として双葉台支部社会福祉協議会に説明し協力依頼をした。

１８　総合福祉会館の運営

（1）総合福祉会館の管理運営に関する業務

茨城県総合福祉会館の適正かつ効率的な管理運営に努めた。

① サービスの向上

月３回程度主催者および利用者に対し、アンケートを実施した。

② 施設の利用率の向上

総合福祉会館ホームページの施設紹介ページ等の内容を更新するとともに、利用空き室及び催事情報を掲載して利用者へのサービス向上に努めた。

③ 総合福祉会館入居団体等連絡会の開催

実施時期	内　容	会　場	参加団体
26. 5.14	・施設利用状況等 ・節電対策　・情報交換	県総合福祉会館 多目的ホール	23 団体

④ 施設利用状況

ア 施設利用状況（年間利用可能日数 359 日）

利用状況 会議室等	利用団体数（貸出件数）			貸出日数	利用人数	使用回数	稼働率（%）
	福　祉	一　般	計(回)				
コミュニティホール	119	131	250	230	38,992	479	44.5
楽屋	129	130	259	243	3,013	474	44.0
大研修室	291	50	341	317	27,203	770	71.5
中研修室	236	159	395	324	16,280	747	69.4
小研修室Ａ	196	246	442	339	8,910	810	75.2
小研修室Ｂ	214	239	453	340	3,760	816	75.8
多目的ホール	155	270	425	329	18,101	732	68.0
高齢者研修室	105	241	346	297	9,468	555	51.5
ギャラリー	70	109	179	178	16,648	178	49.6
その他					7,544		
合　計	1,515	1,575	3,090	2,597	149,919	5,561	

イ 使用料徴収状況　（単位：円）

項　目	福　祉	一　般	合計額
施設使用料	3,384,380	10,749,520	14,133,900
設備使用料	2,841,600	4,824,600	7,666,200
合　計	6,225,980	15,574,120	21,800,100

⑤ 防災訓練

茨城県総合福祉会館消防計画に基づいて、防火管理連絡会を設置した。また、自衛消防隊を編成して消防訓練を行った。

	期　日	内　容	参加者数
救命措置訓練	26. 9.24	・心肺蘇生　・ＡＥＤ操作 ・大量出血時の止血法	25 名
防火管理連絡会	26.10.20	消防計画及び総合消防訓練について	17 団体
総合消防訓練	26.11. 4	自衛消防隊を組織して、通報連絡・初期消火・避難誘導等の訓練	150 人

⑥　施設および付属施設の維持管理に関する業務

18 業務について委託契約を締結し、各業務の維持管理に努めた。

（2）イベントの開催

① 新春絵手紙展

期　　日	内　　容	出　演　者	入場者数
27. 1.17 ～27. 1.23	新春絵手紙展	茨城絵手紙連合会	888 人

②　県民サロンコンサートの実施

期　　日	内　　容	出　演　者	入場者数
26. 4.10	ハワイアン＆フラダンス	ブルーレイズ、フラ	130 名
26. 5.15	ソプラノ・ピアノ	内田陽子氏、山崎奈々氏、 山崎由美子氏	100 名
26. 6.12	ムード歌謡	ヒマナスターズ	120 名
26. 7. 3	琴・ピアノ	岡村京子氏、真木英樹氏	160 名
26. 8. 5	大正琴＆悠弓	柴田琴水会	120 名
26. 9.11	ソプラノ・ピアノ	内田陽子氏、山崎奈々氏、 山崎由美子氏	100 名
26.10.23	音楽とお話	佐々木静江氏	50 名
26.11.21	ギター演奏	マルバギター、 茨城町ギタークラブ	150 名
26.12. 2	ソプラノ・ピアノ	中川治恵氏、中村理以氏、 柳田祐子氏	100 名
27. 1.20	ハーモニカ演奏	パルモニカ水戸	100 名
27. 1.29	ジャズ	ニューサウンドオーケストラ	120 名
27. 2.20	マンドリン演奏	ママビレマンドリンクラブ	100 名
27. 3.19	トランペット演奏	石井幸次郎	150 名

１９　茨城県運営適正化委員会事業

（1）委員会及び委員の構成

①　運営適正化委員会委員選考委員会　　構成委員　6 人　　（敬称略）

構成委員の所属等	氏　　名	属性（提供者・利用者・公益の別）
常磐大学	松 村　直 道	公　益
茨城県民生委員児童委員協議会	鯨井　登美子	公　益
茨城県老人クラブ連合会	山 口　篤 二	利用者
茨城県手をつなぐ育成会	鈴木　金一郎	利用者
茨城県社会福祉施設経営者協議会	上 方　　仁	提供者
古河市社会福祉協議会	宇都木　征一	提供者

② 運営適正化委員会　　構成委員　8人　（敬称略）

構成委員の所属等	氏　名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山　安夫	公益（法律）
茨城県土浦保健所	湊　孝治	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内　章代	公益
流通経済大学	村田　典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部 茨城県精神保健福祉会連合会 （H26. 8.23まで） （H26. 8.24から）	柏木　とき江 古池　源造 兼清　紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会 茨城県心身障害者福祉協会	古谷　博 中山　洋一	提供者

③ 運営適正化委員会　運営監視小委員会　　構成委員　8人　（敬称略）

構成委員の所属等	氏　名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山　安夫	公益（法律）
茨城県土浦保健所	湊　孝治	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内　章代	公益
流通経済大学	村田　典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部 茨城県精神保健福祉会連合会 （H26. 8.23まで） （H26. 8.24から）	柏木　とき江 古池　源造 兼清　紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会 茨城県心身障害者福祉協会	古谷　博 中山　洋一	提供者

④ 運営適正化委員会　苦情解決小委員会　　構成委員　4人　（敬称略）

構成委員の所属等	氏　名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山　安夫	公益（法律）
茨城県土浦保健所	湊　孝治	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内　章代	公益
流通経済大学	村田　典子	公益

（２）会議・研修会の開催

① 運営適正化委員会

実施時期	会議事項	会場	参加者
26. 4.25	・ 平成25年度福祉サービス苦情解決事業実績について報告	県総合福祉会館	8人
26. 8.29	・ 委員改選後初会合 ・ 委員長、委員長代理の選出、各小委員会委員の指名	県総合福祉会館	8人

② 運営適正化委員会　運営監視小委員会

実施時期	会議事項	会場	参加者
26. 4.25	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告	県総合福祉会館	8人
26. 6.27	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	8人

実施時期	会　議　事　項	会　場	参加者
26. 8.29	・ 委員長、副委員長の選出 ・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告	県総合福祉会館	8 人
26.10.24	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	8 人
26.12.19	・ 新規利用者及び契約解除の状況報告	県総合福祉会館	7 人
27. 2.27	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	8 人

③　運営適正化委員会　苦情解決小委員会

実施時期	会　議　事　項	会　場	参加者
26. 4.25	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
26. 6.27	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
26. 8.29	・ 委員長、副委員長の選出 ・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
26.10.24	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
26.12.19	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
27. 2.27	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人

④　その他の会議・研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
26. 8.18	運営適正化委員会事業研究協議会	・ 行政説明　厚生労働省・社会援護局 ・ 報告　全国社会福祉協議会政策企画部 ・ 実践報告 ・ 意見交換	東京都「全社協」	本会から 1 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
26.10. 3	関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会、相談員等連絡会	・ 協議 ①運営適正化委員会と都道府県社協本体との関係性について ②福祉サービス運営適正化委員会の名称について ・ 情報交換 ①日常生活自立支援事業実施機関への実地調査について ②日常生活自立支援事業における金融機関との代理取引について ③日常生活自立支援事業の訪問調査の指摘事項について ④慢性的な人材不足に陥っている事業所への苦情に対する運営適正化委員会の対応について ⑤委員名簿の公表について ⑥苦情解決委員会の局務規定について ⑦福祉サービス事業者や第三者委員への苦情申出を後押しするための具体的な取組について ・各都県苦情相談員間の情報交換	東京都「飯田橋ｾﾝﾄﾗﾙﾌﾟﾗｻﾞ」	本会から3人
27. 2.27	運営適正化委員会連絡会議	・ 運営適正化委員会の役割について ・ 運営適正化委員会における苦情受付･解決状況について ・ 運営適正化委員会に寄せられる苦情について ・ 意見交換	県総合福祉会館	11人
27. 3. 3	福祉サービス苦情解決研修会	・ 講演「苦情はよりよい支援や職場改善の第一歩」	県立県民文化センター	637人

（３）広報・啓発事業

① ポスターの配布

広報・啓発用ポスターを県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

② パンフレットの配布

広報・啓発用パンフレットを県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

③ 資料の配布

「第三者委員の役割と活動」を県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

④ 広報誌への掲載等　　いばらきの社会福祉　第294号（平成26年 6月15日発行）
第296号（平成27年 1月 5日発行）
特別号（平成26年10月1日発行）に掲載

（４）巡回指導事業

県内の福祉サービス事業所を訪問して、次のことを行った。

① 事業所における苦情解決事業の取り組み状況と第三者委員の設置状況の把握

② 苦情解決事業に関する協議

③ 苦情解決事業に関する関係資料集を持参して、苦情解決体制の設置がされていない事業所には、施設等の最低基準を説明して設置を働きかけた。

④　運営適正化委員会の周知

巡回指導実績

平成 26 年 12 月：老人 2 件、保育 2 件

平成 27 年　2 月：老人 1 件、保育 1 件

3 月：老人 2 件、障害 1 件、保育 2 件

（5）福祉サービス利用援助事業実施状況調査事業

県内福祉サービス利用援助事業を実施している基幹的社協に対し、事業実施状況の調査を実施した。

訪問調査　　龍ケ崎市社協、笠間市社協、潮来市社協、常陸大宮市社協、那珂市社協、行方市社協、鉾田市社協、茨城町社協、大洗町社協、城里町社協、大子町社協

書面調査　　水戸市社協外 43 市町村社協

（6）調査研究活動

「福祉サービス苦情解決事業実績報告書」を 500 部作成するとともに、県内の各社会福祉施設、各市町村社協、茨城県及び市町村等へ配布

（7）受理した苦情案件の概要

①　受理した苦情の件数等

受付件数（月別、受付方法別）

※「その他」は、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数

	受付方法							
	来所		書面・電話等		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
４月			5	1			5	1
５月			5	1			5	1
６月			2	1			2	1
７月			4	2			4	2
８月	2		4	4			6	4
９月			5	4			5	4
１０月		1	6	2			6	3
１１月			6	1			6	1
１２月			6	1			6	1
１月			1	2			1	2
２月			3	1			3	1
３月			4	0			4	0
合　計	2	1	51	20	0	0	53	21

種別・苦情申出人の属性

	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
老　人		2	13	4		1	3		2	2	18	9
障害者	18	1	6	1			1	1	1	4	26	7
児　童			6								6	0
その他									3	5	3	5
合　計	18	3	25	5	0	1	4	1	6	11	53	21

※　児童には、保育所含む

② 申出の要旨、対応結果等

苦情の相手先	区分	苦情受付件数	苦情							その他、問合わせ等
			苦情解決の結果							
			相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	その他	継続中	意見要望	
老人	①サービス内容（職員の接遇）	9	5	1			3			
	②サービス内容（サービスの質や量）	1	1							
	③利用料	1					1			1
	④説明・情報提供	4	2	2						1
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他	3	1	1					1	7
障害者	①サービス内容（職員の接遇）	16	9				6		1	
	②サービス内容（サービスの質や量）	3	3							
	③利用料									
	④説明・情報提供	3	2						1	1
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害	2		1					1	
	⑦その他	2					2			6
児童(保育含む)	①サービス内容（職員の接遇）	3	2				1			
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料	2	2							
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他	1						1		
その他	①サービス内容（職員の接遇）	2	1						1	
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料									
	④説明・情報提供									2
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他	1					1			3
合計	①サービス内容（職員の接遇）	30	17	1			10		2	
	②サービス内容（サービスの質や量）	4	4							
	③利用料	3	2				1			1
	④説明・情報提供	7	4	4					1	4
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害	2		1					1	
	⑦その他	7	1	1			3	1	1	16
合計		53	28	5			14	1	5	21